ニセコ町中央倉庫群再活用基本設計

~ 人・こころ・未来がつながる ニセコ町中央倉庫群 ~

ニセコ町中央倉庫群再活用基本設計

【目 次】

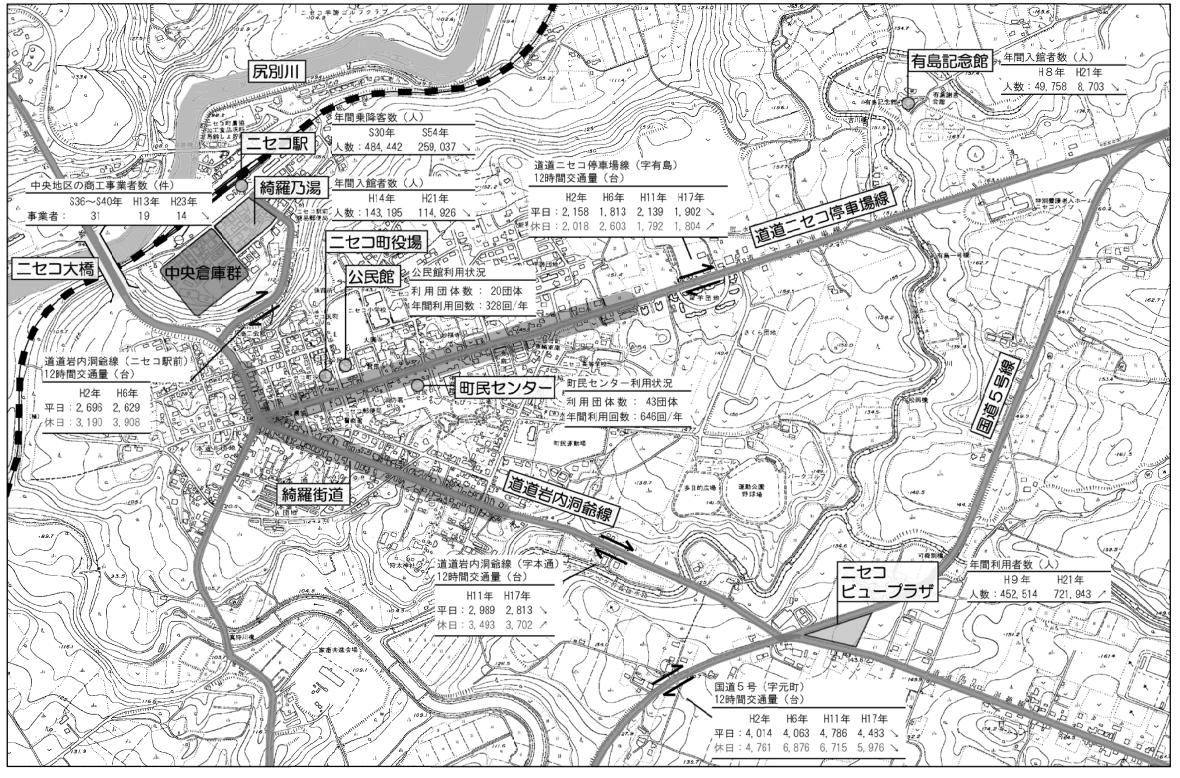
Ι	=-	2⊐町中央倉庫群及び中央地区の現況調査∙分析
	1.	中央倉庫群と市街地周辺主要施設の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
		(1) 中央倉庫群の位置と市街地周辺主要施設の概況
		(2)中央倉庫群の概要
		(3)中央倉庫群の過去の様子
	2.	二セコ町及び中央地区の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
	_ •	(1) 人口・世帯数
		(2) 観光入込客数
		(3)町内の生涯学習・スポーツ団体の状況
	3	・ 中央倉庫群の現況調査報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ &
	٥.	(1)都市基盤施設の概況
		(2)土地・施設利用上の制限
		(2) 年紀 旭成初帝王の間限 (3) 施設利用上のハード面の対応(物理的な要件)の考え方
		(4)現地調査報告概要
		(4) 坑地响鱼牧山城安
Π		や倉庫群の再活用コンセプト及び具体的再活用プログラム
	1.	町民等の意見・意向の把握(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
		(1) ニセコ町中央倉庫群の再活用についてのアンケート調査
		(2)社会実験プログラム「倉庫邑」
		(3)意見交換会
		(4) ニセコ町中央倉庫群再活用基本設計検討委員会
	2.	再活用コンセプト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
		(1) ニセコ町全体における中央倉庫群の位置づけ
		(2)中央倉庫群の取り組みの方向性
		(3) 再活用コンセプト
	3.	具体的再活用プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
		(1)中央倉庫群の取り組みの展開方針と基本機能
		(2)場づくりの方針
		(3) ゾーニング図(活用例)
π	ф.	や倉庫群の改修計画
		とは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
		旧版初工場 肥料新倉庫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
	۷.	
	4.	12 号倉庫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
IV	維	寺管理·運営計画、整備事業計画
	1.	, 10-12
		(1)想定される運営の形態
		(2) 運営に必要なルール(例)
	2.	整備事業計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
		(1)事業の進め方
		(2)整備年次計画・整備費概要
【乡	全	「料】 現地調杏宮直帳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5C

● Ⅰ ニセコ町中央倉庫群及び中央地区の現況調査・分析

- 1. 中央倉庫群と市街地周辺主要施設の概況
- 2. ニセコ町及び中央地区の概況
- 3. 中央倉庫群の現況調査報告

1. 中央倉庫群と市街地周辺主要施設の概況

(1) 中央倉庫群の位置と市街地周辺主要施設の概況

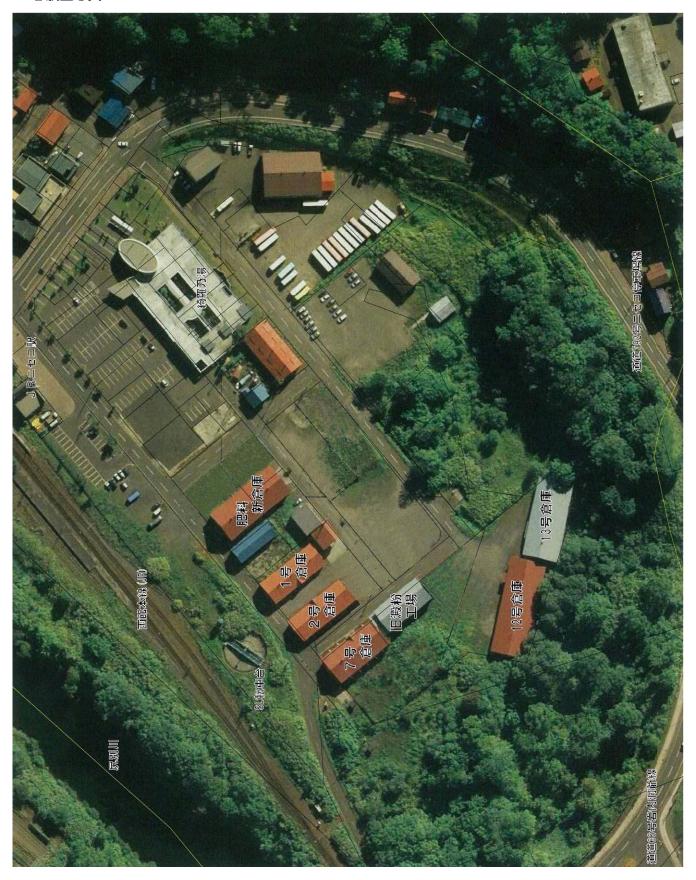


ニセコ町の	二セコ町の市街地整備の変遷					
明治37年	狩太駅設置 (現ニセコ駅)					
昭和39年	公民館完成					
 昭和42年	現ニセコ町役場完成					
昭和50年	町民センター完成					
昭和53年	有島記念館完成					
 平成6年	ニセコ大橋完成					
平成9年	ニセコビュープラザ 完成					
 平成13年	綺羅乃湯完成					
 平成14年	綺羅街道整備完了					
平成23年	町民センター リニューアル中					
平成23年~ 平成25年	ニセコ停車場線整備 予定					

0 100 200 300 400 500

(2) 中央倉庫群の概要

①航空写真



②建物概要

	施設名	建築年	構造・延床面積	備考	外観写真
1	肥料新倉庫	昭和 57	木造(外壁亜鉛鋼板) 平屋 延床面積:499.6 ㎡	・新耐震設計基準を満たす建物。	
2	1号倉庫	昭和6年	木骨石張 平屋 延床面積:326.7 ㎡	・木造の構造材に、石材の外壁。・長い年月を経た歴史的建造物として特徴ある景観を持つ。	
3	2号倉庫	昭和6年	木骨石張 平屋 延床面積:326.7 ㎡	・木造の構造材に、石材の外壁。・長い年月を経た歴史的建造物として特徴ある景観を持つ。	
4	7号倉庫	昭和 36	コンクリートブロック造 平屋 延床面積:364 ㎡	・コンクリートブロック造で、 外部のバットレス(控壁) が特徴。・旧澱粉工場と連続した建 物形状となっている。	The agents
5	旧澱粉工場	昭和 32 年	木造 2階建て 延床面積:298.1 ㎡	・構造材・外壁ともに木造の 建物。木造の工場として、 特徴ある景観を持つ。 ・外壁・軒裏など建物全体 の傷みが進行している。	
6	12 号倉庫	昭和 44	鉄骨造 平屋 延床面積:671.9 ㎡	・外壁鉄板の傷み(折れ、 剥がれ)が進行している。	
7	13 号倉庫	昭和 45 年	木造 平屋 延床面積:518.4 ㎡	・外部の鉄骨バットレス(控壁)が特徴。バットレスに錆が目立つ。・入口の庇部分の劣化が進行している。	

(3) 中央倉庫群の過去の様子

昭和 初期

【馬鈴薯の受け入れ風景と中央倉庫群】



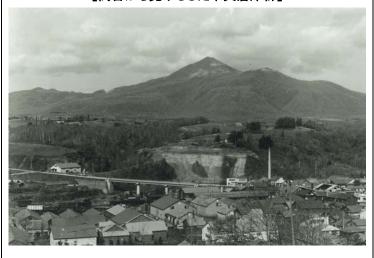
この写真は、昭和初期の馬鈴薯の受け入れ風景です。

場所は狩太駅前(現在のJRニセコ駅)。馬鈴薯は開拓当時から作られ、澱粉の生産と共に早くから町の基幹作物として生産されました。

昭和初期には、主に神谷薯、金時、え ぞ錦などの品種が主で、男爵薯、メーク イーンなどが作られはじめた時期でした。

昭和 40 年頃

【高台から見下ろした中央倉庫群】

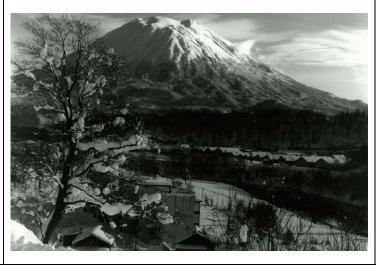


この写真は、昭和40年頃のニセコアン ヌプリと中央地区を撮影したもので、現在 の芙蓉橋とJRニセコ駅前を中心とした中 央倉庫群が多く建ち並んでいるのが見ら れます。

また、高い煙筒のある大きな建物は、 昭和31年に建設された雪印乳業の工場 で、町内の酪農家から乳牛を集荷し、バ ターなどを生産していたそうです。現在 は、JAようていの倉庫になっています。

昭和 40 年頃

【羊蹄山をバックにする中央倉庫群】



この写真は、昭和 40 年頃の羊蹄山を 撮影したもので、手前に王子アパートと、 尻別川を挟んで中央倉庫群が多く建ち 並んでいる様子が分かります。

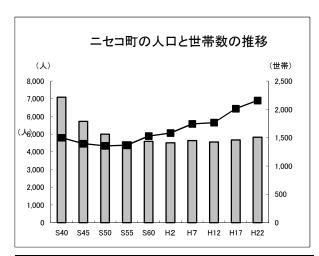
写真:ニセコ町提供

2. ニセコ町及び中央地区の概況

(1)人口・世帯数

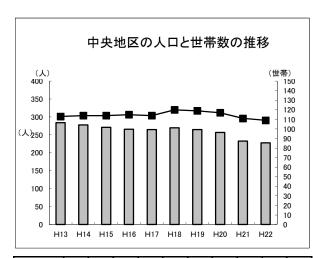
- ・ニセコ町の人口・・・・・4,651人 (平成22年3月末住民基本台帳)
- ・ニセコ町の世帯数・・・・・2,158世帯(平成22年3月末住民基本台帳)
- ・中央地区の人口・・・・・228人(平成22年3月末住民基本台帳)
- ・中央地区の世帯数・・・・・109世帯(平成22年3月末住民基本台帳)
- ・町全体の人口は微増傾向にあります。
- ・町全体の世帯数は小規模世帯化が進み、増加傾向にあります。

項目	区分	調査年	数	割合
	全町	(平成22年3月末住民基本台帳)	4,651	100.0%
人口	土町	(平成17年3月末住民基本台帳)	4,650	100.0%
	中央地区	(平成22年3月末住民基本台帳)	228	4.9%
		(平成17年3月末住民基本台帳)	265	5.7%
	全町中央地区	(平成22年3月末住民基本台帳)	2,158	100.0%
 世帯数		(平成17年3月末住民基本台帳)	2,014	100.0%
世市致		(平成22年3月末住民基本台帳)	109	5.1%
		(平成17年3月末住民基本台帳)	114	5.7%



ニセコ町	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
人口	7,086	5,725	5,003	4,567	4,593	4,511	4,641	4,553	4,650	4,651
世帯数	1,500	1,395	1,357	1,367	1,529	1,583	1,744	1,766	2,014	2,158

(各年度 3月末住民基本台帳)

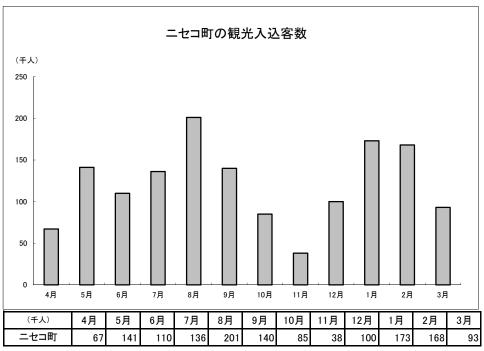


中央地区	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
人口	284	278	271	266	265	270	265	257	233	228
世帯数	113	114	114	115	114	120	119	117	111	109

(各年度 3月末住民基本台帳)

(2) 観光入込客数

- •夏季と冬季に観光客が集中
- ・平成22年度の総観光入込客数は1,457,000人



(平成22年度 ニセコ町商工観光課)

(3) 町内の生涯学習・スポーツ団体の状況

・文化団体・サークル数は 27団体

・スポーツ団体数は 14団体

・スポーツ少年団数は 9団体

①文化団体・サークル(ニセコ町文化協会加盟団体)

1	詩吟同好会	15	音楽サークル
2	愛鼓会	16	囲碁同好会
3	峰声会(民謡)	17	ピアノ同好会
4	書友会	18	社交ダンスサークル
5	民謡クラブ	19	Shall we ダンス in ニセコ
6	ニセコ俳句会	20	フォークダンスサークル
7	泉流幸右衛門会(舞踊)	21	ニセコ・コールブーケ(合唱)
8	ニセコ短歌会	22	ニセコバレエ教室
9	詩舞愛好会(舞踊)	23	ニセコスミレ会(大正琴)
10	写真同好会	24	西川流駒詩の会
11	カラオケ愛好会	25	ニセコ食品加工研究サークル
12	シニアのヨガ	26	ニセコアルゼンチンタンゴ
13	ピアノサークル	27	ニセコJSC
14	ニセコ自然の会		

②スポーツ団体・スポーツ少年団 (ニセコ町文化協会加盟団体)

1)スポーツ団体

1	軟式野球連盟	8	バレーボール協会
2	陸上競技協会	9	バスケットボール協会
3	スキー連盟	10	ゲートボール協会
4	柔道連盟	11	テニス協会 パーク
5	剣道連盟	12	ゴルフ協会
6	卓球協会	13	ゲートボール協会
7	バドミントン協会	14	ソフトバレーボール協会

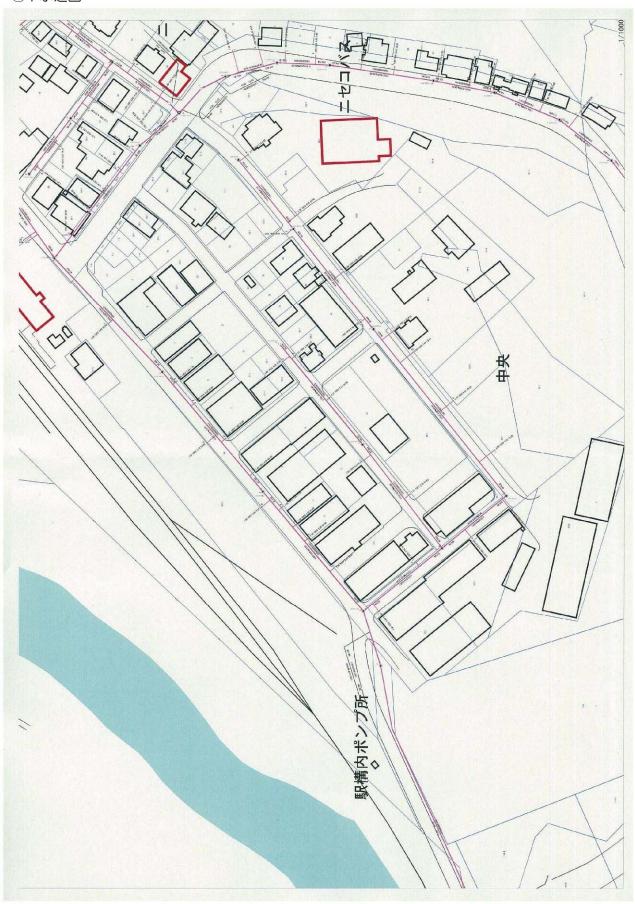
2)スポーツ少年団

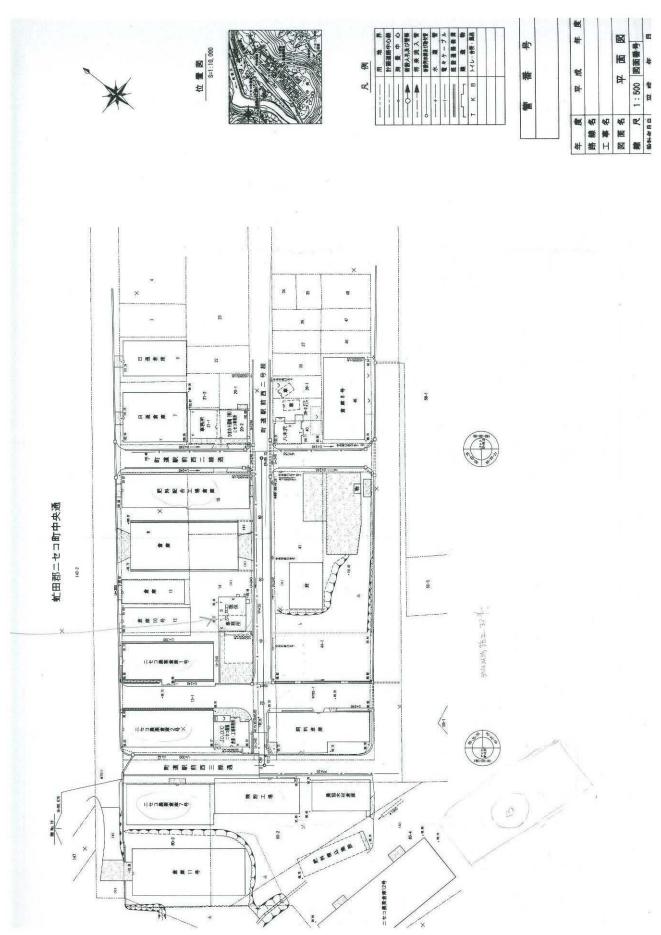
1 野球スポーツ少年団	6 バトミントンスポーツ少年団
2 柔道スポーツ少年団	7 サッカースポーツ少年団
3 クロスカントリースホ゜ーツ少年団	8 陸上スポーツ少年団
4 スキースポーツ少年団	9 バレーボールスポーツ少年団
5 剣道スポーツ少年団	

3. 中央倉庫群の現況調査報告

(1)都市基盤施設の概況

①下水道図





(2) 土地・施設利用上の制限

①土地・施設利用上の制限

1) 土地の利用規制や建物建設に伴う法的手続き等

		許認可者	ニセコ町中央倉庫群再活用
法制度等	規制の対象となる内容	(申請種別)	における手続き
国土利用計画法	·10,000 ㎡以上の土地取引	知事	・土地取引面積は 10,000 ㎡を越える
		(届出)	が、町による土地取引のため届出は
			不要。
都市計画法	・都市計画区域及び準都市計画区域	知事	·「土地の区画形質の変更」は 10,000 ㎡
	外での 10,000 ㎡以上の開発行為	(許可)	以下のため、申請は不要。
建築基準法	・建築基準法第6条1項の各号に定	建築主事	・第6条第1項第1号・3号に該当する建
	められた建築物の建築確認	(確認)	築物であり、建物用途変更が伴う施設
	1~3号:ニセコ町全域		利用(用途)とする場合、建築確認が
	4号:要確認指定区域(市街地)		必要。
	・10 ㎡を超える建築物の工事	知事	・10 ㎡を超える工事となるため、届出が
		(届出)	必要。
ニセコ町景観条例	·高さ 10mを越える建築物・工作物	町長	・高さ 10mを越える建築物はないため、
	・延べ床面積が 1,000 ㎡を越える3階	(協議)	届出は不要。
	以上の建築物		
	・築造面積が 1,000 ㎡を越える工作物		
	・5,000 ㎡を越える開発行為		
	・特定の工場・事業所の設置		
	・屋外広告物の設置		
	・管理不良の土地管理		

2) 土地利用に係る事項

◆ニセコ町には都市計画が指定されていないため、都市計画法に基づく土地利用に係る法的制限(用途制限) はありません。

②施設利用に関する留意事項

◆1:現在の建物用途は「倉庫」。

再活用の施設利用として「現行用途(倉庫)以外の用途」となる場合、建築確認が必要となります。

- ◆2:建築確認に伴い、消防法の規定に基づく建築確認の同意を受ける必要があります。(消防法に基づく施設・設備の設置の義務づけ)。
- ◆3:建築確認に伴う主な留意事項
 - ○集団規定に関する制限はありません。
 - ○単体規定に関する制限は、現行建築基準法に合致する内容を整備(設備)する必要があります。
 - ※1:倉庫7棟全部、現行建築基準法による建築確認物件ではありません。

[単体規定の大項目] ・一般構造

- 防火避難
- 構造強度
- 建築設備

※2:特に、構造強度の確保、防火避難への対応・対策、建築設備の中でも換気設備・排煙設備 の設置について、現況に関する詳細調査・診断を行うとともに、現行建築基準法等を満た すための構造・工法・対策を慎重に検討する必要があります。

③施設利用に係る制限等

© 2002/137		サ ス全に				
	建		階		建物・構造等に	「現行用途(倉庫)以外の用途」と
建物名	築	構造	数	基礎の状況	関する事項	する場合の留意事項
1)	昭	木造	平	•布基礎=RC造	•新耐震設計基準	・構造(木造)の診断・計算が必要
肥料新倉庫	57		屋	(有筋)	を満たすが、用	・用途によってはそれに供する床
			_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	途変更の場合は	面積合計が 200 ㎡以上の場合、
					建築確認が必要	内装制限に係る留意が必要
2)	昭	木骨石張	平	・目視(外観)で	是未雇品/2 20 文	・基礎構造の詳細確認のために、
²⁾ 1号倉庫	6	小月仙城		は、基礎状況を		掘削(1ヶ所)による確認が必要
万启熚	ь		屋			
				確認できない		・木骨構造の診断・計算が必要
						・用途によってはそれに供する床
						面積合計が 200 ㎡以上の場合、
						内装制限に係る留意が必要
3)	昭	木骨石張	平	・目視(外観)で	・地盤沈下が原因	・留意事項については、上記1号
2号倉庫	6		屋	は、基礎状況を	と思われる建物	倉庫と同じ
				確認できない	歪みが著しく、地	・用途=倉庫のままで修繕対応
					盤の詳細調査が	の場合は、建築確認は不要
					必要	
4)	昭	コンクリート	平	·布基礎=RC造	現行建基法に基	・既存図面で基礎構造詳細を確
7号倉庫	36	ブロック造	· 屋	(有筋)	づかないコンクリート	認できない場合は、掘削(1ヶ所)
7,7,7		// <u>-</u>	~	\ 1.3 m/3/	ブロック造に対する	による確認が必要
					構造診断方法な	・既存コンクリートブロック造は耐力を支
					特地的例기広な	える構造体として期待できない
					- DC生田 弥ぶ記	
					•RC造臥梁が設	・用途=倉庫のままで修繕対応
					けられているが、	の場合は、建築確認は不要
					鉄筋の有無につ	
					いては不明	
5)	昭	木造	2	•布基礎(外周)	・床を支える構造	・既存図面で基礎構造詳細を確
旧澱粉工場	32		階	=RC造(有筋)	(根太・大引)の詳	認できない場合は、掘削(1ヶ所)
			建		細・劣化状態に	による確認が必要
					ついては目視(外	・構造(木造)の診断・計算が必要
					観)では確認でき	・用途によってはそれに供する床
					ない	面積合計が 200 ㎡以上の場合、
						内装制限に係る留意が必要
6)	昭	鉄骨造	平	•布基礎=RC造	•7棟の内、延床	・既存図面で基礎構造詳細を確
12 号倉庫	44	≫\ F \&E	· 屋	(無筋)。	面積が最も大き	認できない場合は、掘削(1ヶ所)
12 3 A A			<i>1</i> ==	・鉄骨と緊結する	い建物(672 ㎡)	による確認が必要
				基礎状況につ	・内部の鉄骨・ボ	・構造(鉄骨造)の診断・計算が必
				いては目視では	ルト類に錆が目	要
				確認できない	立ち、劣化の詳	
		1 . 4		, 44-11	細調査が必要	
7)	昭	・木造	平	・布基礎=RC造	•基礎、土台(木)、	・既存図面で基礎構造詳細を確
13 号倉庫	45	・外部に	屋	(無筋)	柱(垂直方向の軸	認できない場合は、掘削(1ヶ所)
		鉄骨バット			組)の緊結なし(金	による確認が必要
		レス(控壁)			物による緊結な	・構造(木造)の診断・計算が必要
					L)	・用途によってはそれに供する床
					•建物周囲全体	面積合計が 200 ㎡以上の場合、
					で、基礎と土台に	内装制限に係る留意が必要
					15~25 mm程度の	・用途=倉庫のままで修繕対応
					隙間あり	の場合は、建築確認は不要
	l				水下 リソンプ	い物口は、圧末唯心は小女

(3)施設利用上のハード面の対応(物理的な要件)の考え方

①まとめ (一覧)

建物名	建築	構造、基礎の状況	階数	施設利用の考え方
全棟共通	_	_	_	・倉庫以外の用途とする場合、照明・電気、暖房・換気、 水回り・給排水管等の全ての設備機器の設置が必要 ・屋根・外壁・開口部の現状の劣化・欠損・傷みに対し て、補修による性能回復が必要 ・利用者が長時間に渡り活用・滞在する用途の場合、採 光確保、建物全体の断熱性・気密性の向上が必要
1) <mark>肥料新倉庫</mark>	昭 57	・木造 ・布基礎=RC造(有筋)	平屋	★交流施設等として再活用(構造補強) ◎構造的な補強規模が7棟の中で最も小さく、比較的大きな室内空間を有効利用できる建物
2) <mark>1号倉庫</mark>	昭6	・木骨石張 ・目視(外観)では、基礎状 況を確認できない ・木骨の構造耐力保持の確 認が必要。石材は構造耐 力を支えない	平屋	★交流施設等として再活用(構造補強) ②木骨石張建物で、倉庫群として特徴的な景観を形づくる中心的な建物 ③構造的・空間的な特徴を活かしながら、価値高い活用を目指す建物 ③既存木骨が構造耐力を保持しない場合、新たな木造構造柱・梁や鉄骨柱・梁による建物全体の補強が必要
3) <mark>2号倉庫</mark>	昭6	・木骨石張 ・目視(外観)では、基礎状況を確認できない ・地盤沈下が原因と思われる建物歪みが著しく、地盤の詳細調査が必要	平屋	★倉庫用途のまま(補修程度) ②木骨石張建物で、倉庫群として特徴的な景観を形づくる中心的な建物 ③建物歪みの原因部分(地盤沈下)の大規模な改良・補強と、建物歪み自体の補修・性能回復に多額の費用がかかることが想定される ③倉庫用途のまま、劣化・欠損・傷みの補修による性能回復の対応が最も費用対効果が高いと想定される
4) <mark>7号倉庫</mark>	昭 36	・コンケリートプロック造 ・布基礎=RC造(有筋) ・既存コンケリートプロック・臥梁 は構造耐力を支えるもの ではない	平屋	★倉庫用途のまま(補修程度) ②道路に面して、1 号・2号倉庫と連なり倉庫群としての 景観を形づくる建物 ②建物全体で大規模な構造的な補強が必要 ②倉庫用途のまま、劣化・欠損・傷みの補修による性能 回復の対応が最も費用対効果が高いと想定される
5) <mark>旧澱粉工場</mark>	昭 32	·木造 ·布基礎(外周)=RC造(有 筋)	2階 建	★交流施設等として再活用(構造補強) ②昭和 30 年代築の木造工場として特徴あるデザインを持つ建物。7 号倉庫との連棟形式で、中通りの特徴ある景観を形づくる ③木造2階建ての特徴あるデザイン、木造の大空間を有効活用できる建物 ③木造建築を活かし、比較的柔軟な空間構成が可能
6) <mark>12 号倉庫</mark>	昭 44	・鉄骨造・布基礎=RC造(無筋)。・鉄骨と緊結する基礎状況については目視では確認できない	平屋	★交流施設等として再活用(構造補強) ②鉄骨造の構造補強と劣化防止を行うことで、鉄骨山形 ラーメン小屋梁(屋根を支える大きなトラスがない)を活 かして、室内として最も大きな空間を活用できる建物(トラスがなく、室内高さが最も高い)
7) 13 号倉庫	昭 45	・木造。外部に鉄骨バットレス ・布基礎=RC造(無筋) ・建物全体で、基礎と土台 に 15~25 mm程度の隙間	平屋	★倉庫用途のまま(補修程度) ②建物全体で大規模な構造的な補強が必要 ③倉庫用途のまま、劣化・欠損・傷みの補修による性能 回復の対応が最も費用対効果が高いと想定される

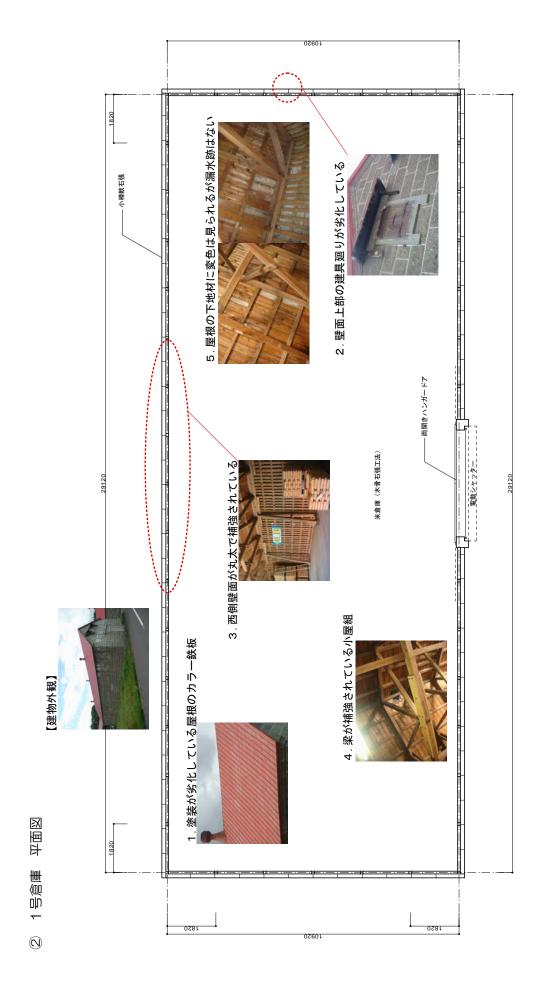
②詳細

	建	構造、基礎	階	建物・構造等に関する事項	
建物名	築	の状況	数	「倉庫以外の用途」の留意事項	ハード面の対応の考え方(素案)
★全棟共通	_	_	1	・ 倉庫以外の用途に利用する場合、照明・電気、暖房・換気、水回り・給排水管等の全ての設備機器の整備が必要	・屋根・外壁・開口部の劣化・欠損・傷みの補修による性能回復が必要・利用者が長時間に渡り活用・滞在する用途の場合、採光確保、建物全体の断熱性・気密性の向上が必要
1) 肥料新倉庫	昭 57	·木造 ·布基礎= RC造(有筋)	平 屋	 ・新耐震設計基準を満たすが、用 途変更の場合は建築確認が必要 →構造(木造)計算が必要 ・洋小屋組(真束(しんづか)工法) ・不特定多数が集まる用途の場 合、内装制限に係る留意が必要 	・構造的な補強が必要な場合に、補強 規模が7棟の中で最も小さい建物 →基礎、土台(木)、柱(垂直方向の軸組) の金物による緊結、主要軸組の耐 震金物補強が必要(想定) ★施設機能的な活用 ◎構造的な補強規模が小さく、比較的 大きな室内空間を利用できる建物
2) 1号倉庫	昭 6	・木骨石張 ・目視(外観) では、基礎 状況を確認 できない	平屋	・基礎構造の詳細確認のために、 掘削(1ヶ所)による確認が必要 ・木骨の構造耐力保持の確認が必 要。石材は構造耐力を支えない ・洋小屋組(真束(しんづか)工法)	・既存木骨が構造耐力を保持しない場合、新たな木造構造柱・梁や鉄骨柱・ 梁による建物全体の補強が必要
				・不特定多数が集まる用途の場 合、内装制限に係る留意が必要	★倉庫群としての景観的な保全・活用 ◎木骨石張建物で、倉庫群として特徴 的な景観を形づくる中心的な建物 ◎構造的・空間的な特徴を活かしなが ら、価値高い活用を目指す建物
3) 2号倉庫	昭 6	・木骨石張 ・目視(外観) では、基礎 状況を確認 できない	平屋	 ・地盤沈下が原因と思われる建物 歪みが著しく、地盤の詳細調査が必要 ・木骨の構造耐力保持の確認が必要。石材は構造耐力を支えない・洋小屋組(真束(しんづか)工法) 	・既存木骨が構造耐力を保持しない場合、新たな木造構造柱・梁や鉄骨柱・梁による建物全体の補強が必要・建物歪みの原因部分(地盤)の大規模な改良・補強等と、建物全体の歪みを補修する性能回復が必要
				・留意事項については、上記1号倉 庫と同じ	★倉庫群としての景観的な保全 ②木骨石張建物で、倉庫群として特徴 的な景観を形づくる中心的な建物 ②倉庫用途のまま、劣化・欠損・傷み の補修による性能回復の対応が最 も費用対効果が高いと想定される
4) 7号倉庫	昭 36	・コングリート ブロック造 ・布基礎= RC造(有筋)	平屋	・現行建基法に基づかないコンケリートプロック造に係る構造診断方法なし・基礎構造の詳細確認のために、掘削(1ヶ所)による確認が必要・既存コンケリートプロック・臥梁は構造耐力を支えるものではない・洋小屋組(真束(しんづか)工法)・用途=倉庫のままで修繕対応の場合は、建築確認は不要	・既存コンクリートブロック・臥梁は構造耐力を保持しない。新たな木造構造柱・梁や鉄骨柱・梁による建物全体の補強が必要 ・既存コンクリートブロックとコンクリート部分の劣化・欠損・傷みの全面的な大規模補修による性能回復が必要 ★倉庫群としての景観的な保全 ◎道路に面して、1号・2号倉庫と連なり倉庫群としての景観を形づくる ◎倉庫用途のまま、劣化・欠損・傷み
					の補修による性能回復の対応が最 も費用対効果が高いと想定される

5)	昭	•木造	2	・床を支える構造(根太・大引)の詳	・建物全体の大規模な構造的な補強
旧澱粉工場	32	•布基礎(外	階	細・劣化状態に詳細調査が必要	が必要
		周)=RC造	建	・基礎構造の詳細確認のために、	→基礎・束部分の構造的な連続性の
		(有筋)		掘削(1ヶ所)による確認が必要	確保が必要
				・構造(木造)の計算が必要	→基礎と土台の緊結が必要
				・洋小屋組(真東(しんづか)工法)	→基礎、土台(木)、柱(垂直方向の軸組)
				・不特定多数が集まる用途の場	の緊結が必要
				合、内装制限に係る留意が必要	→木造の大空間を支えるための、新た
					な木造構造柱・梁・筋交による建物
					全体の補強が必要
					→床組・床仕上げの性能回復が必要 ・2階を一般利用者が日常的に利用す
					る場合には、階段等の安全対策・高
					齢者等対応が必要
					★倉庫群としての景観的な保全・活用
					◎昭和 30 年代築の木造工場として特
					徴あるデザインを持つ建物。12 号倉
					庫との連棟形式で、中通りの特徴あ
					る景観を形づくる
					◎木造2階建ての特徴あるデザイン、
					大空間を活用できる建物
6)	昭	•鉄骨造	平	・7棟の中で、延床面積が最も大き	・基礎補強(有筋化)、鉄骨接合部・ボ
12 号倉庫	44	- 布基礎=	屋	い建物(672 ㎡)	ルト類の補強と劣化防止が必要
		RC造(無		・内部の鉄骨・ボルト類に錆が目立	
		筋)。		ち、劣化の詳細調査が必要	
		・鉄骨と緊		・基礎構造の詳細確認のために、	
		結する基礎 状況につい		掘削(1ヶ所)による確認が必要 ・構造(鉄骨造)の診断・計算が必要	
		ては目視で		· 博坦(軟育坦/07的間· 司穿/)·必安	★施設機能的な活用
		は確認でき			○構造補強と劣化防止を行うことで、
		ない			山形ラーメン小屋梁(鉄骨造)で小
					屋組トラスがないことを活かして、室
					内として最も大きな空間を活用でき
					る建物(室内高さが最も高い)
7)	昭	•木造	平	・基礎、土台(木)、柱(垂直方向の軸	・建物全体の大規模な構造的な補強
13 号倉庫	45	・外部に鉄	屋	組)の緊結なし(金物による緊結な	が必要
		骨バットレス		L)	→基礎の有筋化、基礎と土台の緊結
		(控壁)		・建物周囲全体で、基礎と土台に	が必要
		•布基礎=		15~25 mm程度の隙間あり	→基礎、土台(木)、柱(垂直方向の軸組)
		RC造(無筋)		・基礎構造の詳細確認のために、	の緊結が必要
				掘削(1ヶ所)による確認が必要	→現況木造柱・梁が構造耐力を保持し
				・構造(木造)の計算が必要	ない場合、新たな木造構造柱・梁や
				・洋小屋組(真束(しんづか)工法) ・不特定多数が集まる用途の場	鉄骨柱・梁による建物全体の補強が 必要
				・	必安 →外部鉄骨バットレス(控壁)を利用する
				・用途=倉庫のままで修繕対応の	場合、全面的な補修による性能回
				場合は、建築確認は不要	復が必要
					★施設機能的な活用
					◎倉庫用途のままで、劣化・欠損・傷
					みの補修による性能回復の対応が
					最も費用対効果が高いと想定される

1820 5. 壁面鋼板の破損 3. 内部の小屋組、壁面には劣化が見られない 4. 壁面鋼板の穴あき 鱼 【建物外観】 1. 開口部ベニヤ板の剥がれ 2. 軒天仕上げ材のひび割れ 16

平面図 (4) 現地調査報告概要 ① 肥料新倉庫

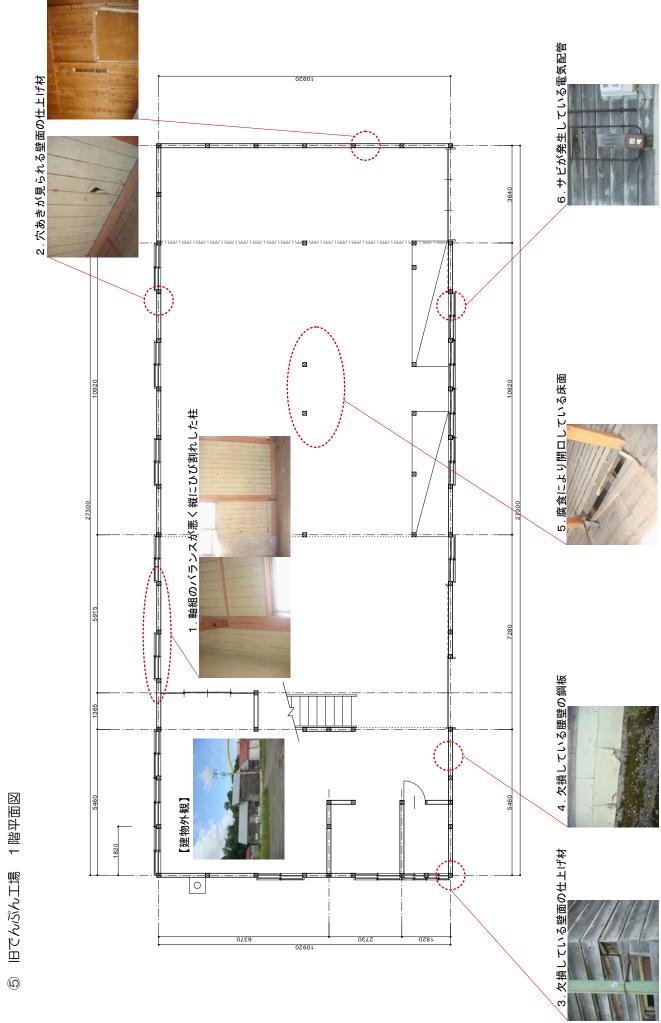


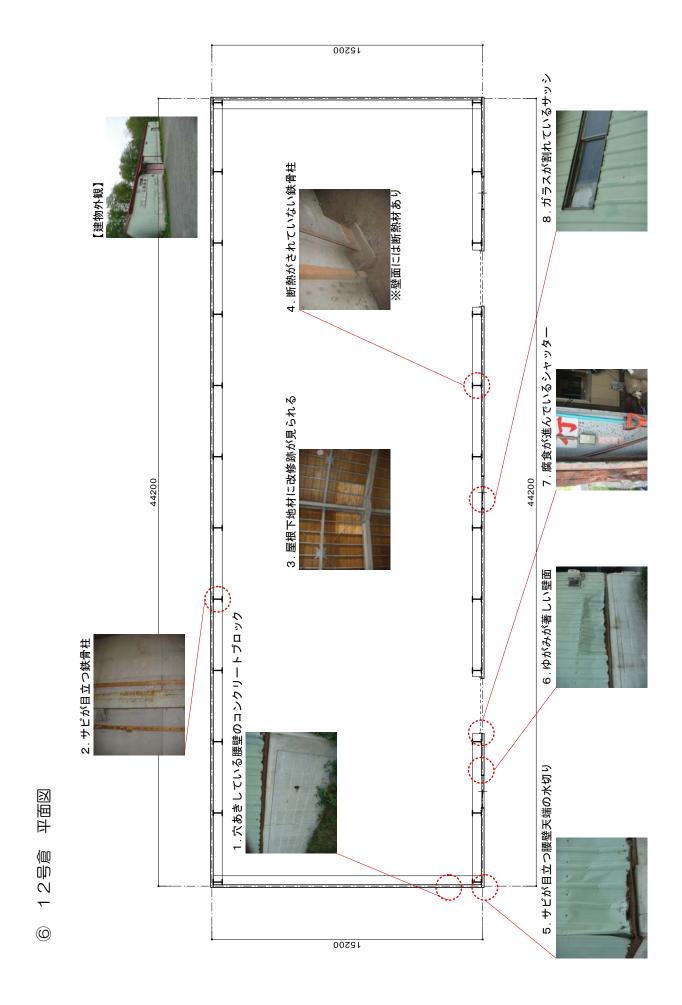
南東部分と比較して10cm以上の沈下が 確認された。

③ 2号倉庫 平面図

7号倉庫 平面図

4





※土台の浮きや含水は建物全体に 見受けられるため注意が必要

1. 町民等の意見・意向の把握

中央倉庫群再活用基本設計の策定に当たり、多様な方法により町民・町外者・有識者等の意見やアイディアを把握する機会を設けました。意見等の把握の方法・実施概要を、以下に整理します。

具体的な意見・アイディアの内容については、Ⅱ-2.-(3) 再活用コンセプトの「課題の解決策・ 具体のアイディア」、「意見・アイディア」欄に整理・集約しました。

(1) 二セコ町中央倉庫群の再活用についてのアンケート調査

①アンケート調査の実施概要

調査の趣旨	中央倉庫群の再活用にかかる意見・アイディア等を町内外から広く募ることを目的と
	します。限定的な回答にならないように、記述式の項目を多く設定して幅広く自由に回
	答(文章)していただく形成で実施。
調査対象	・町内全世帯 (町広報誌の配布対象世帯)
	・インターネット配信による、対象者を限定しない返信
配布方法	・町広報誌への折り込み配布(平成 23 年 8 月 1 日配布)
	・町ホームページによるインターネット配信
回収方法	・町内公共施設に設置の「意見箱」への投稿
	・FAX返信
	・電子メール(添付)返信
調査期間	平成23年8月1日(月)~8月26日(金)
調査項目	・ニセコ町には現在ないが、町民・来訪者・観光客に楽しんでもらえる、まちづくりに
	役立つと思うもの(記述式)
	・JRニセコ駅前・中央地区の整備や環境づくりの取り組み方について(選択肢)
	・JRニセコ駅前・中央地区の課題や気になること(記述式)
	・JRニセコ駅前・中央地区に期待する役割や環境づくり(記述式)
	・中央倉庫群の再活用として、ここで実現するとよい思う活動や役割、施設整備・環境
	づくり(記述式)
	・中央倉庫群の再活用として、必要性の低い活動や役割、やってもらいたくない環境づ
	くり(記述式)
	・中央倉庫群の再活用を通した活動や事業などで、あなたやあなたが属する団体・組織
	等が参画できるものや役割を担うことできるもの(記述式)
	・今後、中央倉庫群の再活用・整備の検討において、積極的な参画が望まれる活動団体・
	サークルやキーパーソン等(記述式)
	・参加・協力したいと思っている活動や役割(選択肢)
	・回答者の属性(性別、年齢、職業、住まいの地区、参加・会員になっている団体・サ
	ークル名、団体・サークル等への参加回数)
有効回答数	4 1 票

②アンケート調査実施に関連した見学会の開催

開催の目的	アンケート調査実施にあわせて、中央倉庫群の外観と旧澱粉工場内部を公開する見学
	会を実施。
開催日時	〇平成 23 年 8 月 7 日 (日) 10:00~、14:00~
	〇平成 23 年 8 月 21 日 (日) 10:00~、14:00~

(2) 社会実験プログラム「倉庫邑」

①開催概要

開催の目的	中央倉庫群再	事活用基本設計の策定に当たり、実際に倉庫群を会場としたイベント
	を開催し、倉庫	『群とその再活用について町内外に広く周知するとともに、倉庫群を
	活用する際の和	便性や問題点などを把握・認識し、計画策定の参考とします。
開催日時	平成 23 年 10 月	2日(日) 10:00~16:00
会 場	中央倉庫群	
プログラム名称	体験プログラム	x 倉庫邑(そうこむら)
実施概要	旧澱粉工場	1) ふしぎヒコーキ・ワークショップ
	(屋内会場)	・講師:NPO法人なかしべつ伝成館代表理事 飯島 実
		2) 講演会
		•講師:北海道大学大学院工学研究院 特任教授 角 幸博
		3)公開意見交換会「ニセコ・まちづくりカフェ」
		4) なつかしの狩太展
		5)ニセコ町在住のアーティストなどによる作品展示
		・出展/書 : 小貫列快 氏
		絵画:小川孝男 氏
		写真:山田スミ子 氏
		6)アート手作り体験コーナー
		・お水で書道/講師:小貫列快 氏
	屋外会場	7) クイズオリエンテーリング
	(中央倉庫群	8) バンジートランポリン
	敷地内)	9)アート手作り体験コーナー
		・石ころアート
		・紙クラフト

②企画概要と参加者の状況

会 場	実施企画	開催	企画概要	参加者
云 塚	夫加正凹	時間	上	数(人)
旧澱粉工場	1)ふしぎヒコーキ・ワークショップ	10:00	・紙飛行機の元世界チャンピオンと、蝶・花・	30
(屋内会場)		~ 12:00	種子をイメージしたふしぎなヒコーキを作	
			り、飛ばす。	
			・講師: NPO法人なかしべつ伝成館	
			代表理事 飯島 実	
	2)講演会	13:00	・中央倉庫群の歴史的建築物としての魅力	40
		~ 14:00	再発見のヒントや活用事例などについて講	
			演。	
			•講師:北海道大学大学院工学研究院	
			特任教授 角 幸博	
	3)公開意見交換会	14:30	・中央倉庫群の再活用について、自由に参	20
	「ニセコ・まちづくりカフェ」	~ 16:00	加し、意見やアイディアを出していただく機	
			会。	
			・ワールドカフェ方式により実施。	
	4)なつかしの狩太展	10:00	・ニセコ町や中央地区の歴史・変遷を写真	50
		~ 16:00	(パネル)で紹介・展示。	
	5)ニセコ町在住のアーティストな	10:00	・出展/書 : 小貫列快 氏	50
	どによる作品展示	~ 16:00	 絵画:小川孝男 氏	
			写真:山田スミ子 氏	
	6)アート手作り体験コーナー	11:00	・お水で書道/講師:小貫列快 氏	20
		~ 13:00		
小 計				210
屋外会場	7)クイズオリエンテーリング	10:00	・中央倉庫群に関するクイズ出題(クイズ用	30
(中央倉庫		~ 14:00	紙の配布)。参加者には抽選で賞品が当	
群敷地内)			たる。	
	8)バンジートランポリン	10:00	・強力ゴムを着けて安全に高さ約8mまで跳	50
		~ 13:00	ね上がるアトラクション。	
		14:30		
		~16:00		
[9)アート手作り体験コーナー	10:00	・石ころアート	30
		~16:00	・紙クラフト	
小計				110
合 計				320

※参加者数は概算

(3) 意見交換会

基本設計の策定に当たり、町民の意見・アイディア等の把握のために、ワークショップ形式等による町民同士の意見交換会を4回実施。

回	開催日時	進行方式	主な意見交換項目	参加者 数(人)
第	平成 23 年9月2日(金)	グループ(テーブル) 毎に	・現在のJRニセコ駅前・中央地区のイメージ	
1	18:30~21:00	意見交換を進めるワーク	・中央倉庫群の再活用としてどのようなことを	25
回		ショップ形式	求めるか	
第	平成 23 年9月 16 日(金)	グループ(テーブル)毎に	・町内の他の施設や資源等とのつながりや	
2	18:30~21:00	意見交換を進めるワーク	役割分担を踏まえた時、中央倉庫群の再	
回		ショップ形式	活用として望ましい機能・サービス	23
			・整備する際の、倉庫建物ごとの機能・サー	
			ビス・デザインのアイディアやイメージ	
第	平成 23 年 12 月9日(金)	事務局から中央倉庫群再	・中央倉庫群再活用のコンセプトのゾーニン	
3	18:30 ~ 20:30	活用コンセプトとゾーニン	グ例に基づき、あなたはどこで何をしてみ	13
回		グ例の説明後、全員で意	たいか	13
		見交換を進める会議形式		
第	平成 24 年2月1日(金)	グループ(テーブル)毎に	・中央倉庫群再活用の上での運営とルール	
4	18:30~21:00	意見交換を進めるワーク	→それぞれの立場での希望や要望	17
回		ショップ形式	→運営に必要なルール	
ŧ,	参加者合計(延べ人数)			78
	会 場	全て、ニセコ町公民館 講堂	<u></u>	

(4) ニセコ町中央倉庫群再活用基本設計検討委員会

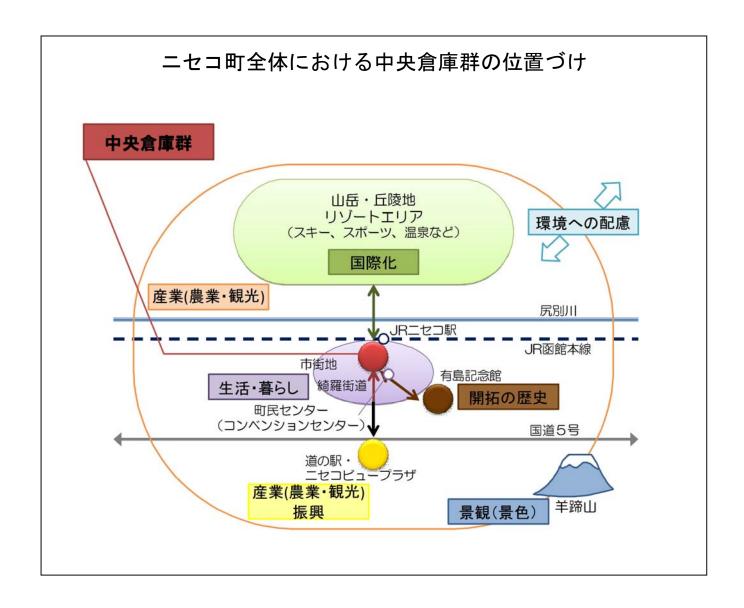
基本設計の策定に当たり、町内等の機関・団体等の代表や有識者から成る検討委員会を設置して、基本設計(案)の協議・承認を行いました。

回	開催日時	会 場	主な議題
第	平成 23 年7月 26 日(火)	ニセコ町役場	○報告:・中央倉庫群の概況と再活用基本設計について
1	10:00~12:10	第二会議室	・歴史的建造物再活用の事例報告
回			○議事:・検討スケジュール
			・アンケート調査、ワークショップとヒアリング調査の実施
第	平成 23 年9月 26 日(月)	ニセコ町	〇報告:・現地調査の中間報告
2	10:00~12:10	公民館講堂	・町及び中央地区等の概況報告
□			・意見交換会(第1回・第2回)の中間報告
			・アンケート調査の結果報告
			・体験プログラム(10 月2日)の開催準備報告
			○議事:・中央倉庫群の再活用の方向性について
第	平成23年11月29日(火)	ようてい農業	〇報告:・体験プログラム「倉庫邑」について
3	14:00 ~ 16:00	協同組合ニセ	・施設利用上のハード面の対応(物理的な要件)の考え方
回		コ支所 第一	○議事:・実現可能なコンセプト、具体的な再活用プログラム、運
		会議室	営体制について
第	平成 24 年2月 17 日(金)	ニセコ町	〇報告:・意見交換会(第3回・第4回)の経過報告
4	14:00 ~ 16:00	公民館講堂	〇議事:・ニセコ町全体における中央倉庫群の位置づけ(案)、中
回			央倉庫群の取り組みの方向性(案)
			・中央倉庫群の取り組みの展開方針と機能(案)、場づく
			りの方針(案)、ゾーニング(活用例)
			・想定される運営の形態(案)、運営に必要なルール(例)

2. 再活用コンセプト

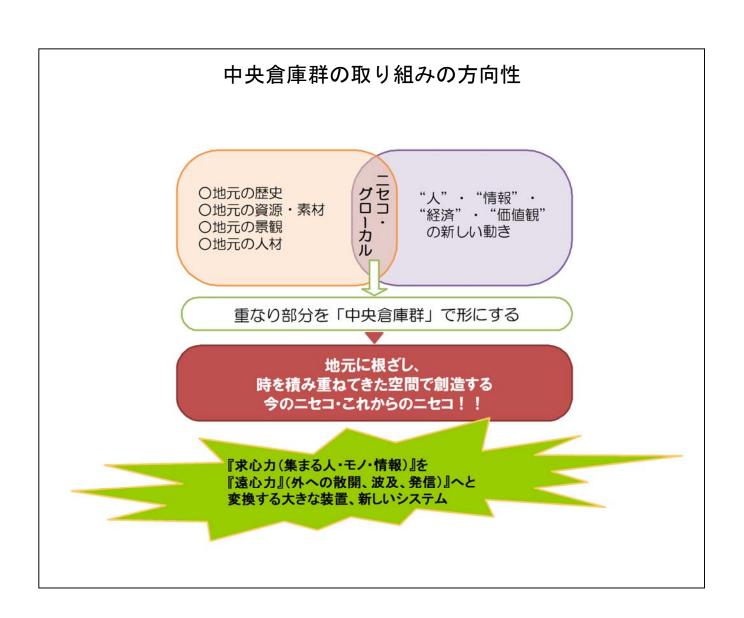
(1) ニセコ町全体における中央倉庫群の位置づけ

ニセコ町の地域特性・現況、及び多様な方法により把握した町民等の意見・アイディアに基づいて、中央倉庫群再活用において連携・連動すべき町内資源等を、「ニセコ町全体における中央倉庫群の位置づけ」として、以下に整理します。



(2) 中央倉庫群の取り組みの方向性

先に整理した「ニセコ町全体における中央倉庫群の位置づけ」と「ニセコ町の潜在力(ポテンシャル)」、 及び「社会背景の新しい動き」を総合的に捉え、「中央倉庫群の取り組みの方向性」を、以下に整理し ます。



(3) 再活用コンセプト

多様な方法により把握した町民等の意見と町内の活かすべき資源を整理・集約して、再活用コンセプトを位置づけします。

	データ	意見交換会の意見
■現状	□世帯数2.158(平成22年3月末住民基本台帳)	 ■羊蹄山、ニセコ大橋の眺めなどの景色が良い■ニセコ自体に価値がある ■ニセコはパワースポット的な力がある ●オシャレ●ニセコブランド●移住者●人の少なさ●住みやすい ●車の運転が快適●時間の流れがゆっくり●子育ての環境が良い ●遠すぎなく近すぎない●天気が悪いと遊ぶ場所がない
	中央地区 □人口 228(平成22年3月末住民基本台帳) □世帯数109(平成22年3月末住民基本台帳) □商工事業者数14 (H23)	■ニセコ駅は高校生の利用率が高い■ニセコ駅の雰囲気が良い ■現状は孤立して寂しいエリアのイメージがある ■囲まれた安心感がある◆人通りが少なく寂しい◆駅前に魅力がない
■資源	二七コ □羊蹄山□アンヌプリ□尻別川□綺羅街道 □ニセコビュープラザ□有島記念館□ニセコ大橋 □公民館□町民センター□綺羅乃湯	●豊かな自然環境●パウダースノー●温泉●水がおいしい ●四季が味わえる●有島武郎●町民の意識が高い●個性的な住民 ●農産物●道の駅●リゾート●スポーツ
	中央地区 ロJRニセコ駅口綺羅乃湯口SL転車台	■ニセコ駅を中心に歴史がある●駅

データ元の凡例

- ■意見交換会
- ●ニセコ・まちづくりカフェ
- (社会実験プログラム) ◆町民アンケート
- ◇体験プログラムアンケート 口コンサル調査



導き出される

機能一覧

ニセコの資源の活用 ニセコらしいもの・体験

・ニセコらしさを知る場

ウォーターフロント施設

周辺環境・自然環境の整備

川釣り施設

周辺道の整備

周辺空間の整備

活かすべき資源

- ・JRニセコ駅
- 綺羅乃湯
- ・コミュニティFM放送局
- 有島記念館 ・ニセコビュープラザ
- 移住者の意識
- 観光者 文 ・ニセコ駅周辺の歴史
- 化 ・冬、夏のスポーツ

展開方針

1. ニセコらしい活用

ニセコの資源を活かす

・地域資源の付加価値化

・町民の個性を活かせる場

ニセコの開拓の歴史や 地域文化を、体験を通

して感じ・学ぶ事のでき

・ニセコ文化の継承

·修景·景観整備

る場づくり

再活用コンセプト

人・こころ・未来が つながる ニセコ中央倉庫群

- ☆歴史(ヒストリー)
- ☆文化・地域産業(カルチャー)
- ☆運動・活動(スポーツ)
- ☆多世代交流・子ども達(フューチャー)

周りを囲まれたすり鉢状の空間の二セコ駅前で、 安心感が持てたり、ホッと一息つける場所として、 人が集まり、時間を過ごせる環境づくり

展開方針に基づく 基本機能

施設展開等

二セコ資源の活用

周辺環境への配慮

の取組

ニセコ文化・歴史の 展示スペースの設置

みんなが集う 駅前 →"もりづくり"

農産物の加工研究 スペースの設置

地場野菜の 貯蔵スペースの設置

周辺景観への配慮

エコロジーへの配慮

肥料 新倉庫

1号

	口の(二 ヒコ家口市)	雅刀湯口50年日	■ ニピコ歌を中心に歴史がめる●	词八
キーワード	課題	課題の解決策 ・具体のアイディア	意見 ・アイディア	方向性
1 ニセコら	しさ			
			■ニセコらしいもの	ニセコらしさの追求が望まれている
			◆ニセコらしい体験ができる場	ニセコらしさを学べる場が望まれている
			■ニセコを改めて知る場に なってほしい	"
2 資源				
		■尻別川に親しむことの できる環境の整備		資源を認識・活用することが望まれている
			◆ニセコの自然の整備	11
			■倉庫群周辺道の活用	"
		■倉庫群とともに 周辺地域も整備		連動性のある整備が望まれている
3 ニセコ文化				
	■ニセコには 文化的施設 が少ない	■ニセコの農業、農的 暮らしを伝えていく拠点		ニセコ文化を伝えることが望まれている
		■歴史を活かした 観光の拠点		"
		◆開拓の歴史を学ぶ博物館	◆歴史を感じられる場	11
			◇歴史を見学できる場	"
			■体験学習の場	"
			■◆文化を体験する場	子供が歴史を学べることが望まれている
4 農作物				
		■食品加工(じゅうごばぁ の活動)の拠点	■農産物の価値を高め、もっとたくさんの人に伝えたい	農作物の価値を高めることが望まれている
		■カッティング野菜の 加工場を整備		II .
		■◆農産物の加工施設	■◆二セコの特産物に 付加価値をつける場	"
			◆ニセコ料理を楽しめること	II .
r 8 49			■◇学校給食のための 地元野菜の貯蔵庫	農作物の安全性の確保が望まれている
5 景観	■ 目 <i>年</i> 3 <i>+</i>			
	■景観を 整備しないと いけない		■眺望の良い空間作り	景観の良さを活かすことが望まれている
C ->"+"	0117201	■外観の統一		II .
6 エネルキー		■マカリギ 甘地しして		ウゲーキボナフェレが卸ナセフリフ
		■エネルギー基地として		自然に考慮することが望まれている
		■自然エネルギーの利用	▲亜井エフリギーの	ıı — — — — — — — — — — — — — — — — — —
		◆綺羅乃湯の	◆再生エネルギーの モデルとして	II .
		▼		"
7 倉庫を壊	す	2160000		
		■倉庫を壊す	■思い切って壊すことも考える	新しい価値を生むことが望まれている

◆ニセコの新しい魅力をつくる場

- ・ニセコ文化・歴史の展示

歴史館・博物館

- ・ニセコの歴史の展示
- ・子ども達がニセコ文化・歴史 を体験・学習できる施設
- 食品(農産物)加工研究施設
- 食品(農産物)加工施設
- 地元食材を活かすレストラン
- 地元野菜の貯蔵庫
- 修景・景観整備
- 建物外観の整備
- ・再生エネルギーの活用
- ・エコロジーへの配慮
- 未利用エネルギーの活用
- |四季折々に楽しめる広 場づくり

町民の身近にあって、

町民それぞれが個性を 活かし、生き生きと活動 できる場づくり

倉庫

人とのふ	れあい								
0 7(20)3		◆町民の	■人と人とがつながる	─		 ・ふれあい・交流の場		2. 人と人が、	
		コミュニケーションの場 ■ニセコの顔として	コミュニケーションの場	// // // // // // // // // // // // //				ふれあえる場	
		駅に人が集う場	■ 4 / たが生 5 担元		1	・集いの場		づくり	
			■みんなが集う場所◆人が集うことができる場	"	1			┃ ┃・町民・来訪者・観光客、	
			■◆子どもからお年寄りまで	────────────────────────────────────		・多世代が一緒に活動、		いろん な人が自由に集い、	
			楽しめる多世代空間 ■様々な世代が集う	世代的79 女派できることが重まれている	-	交流できる場		くつろぎ、活動する空間	
			■ 様々な匠代が乗り ふれあいの場に	"				・一人一人が自分らしく活動	
	1	◇写真コンテスト	■◇世代を問わず楽しめる	世代問わず利用できることが望まれている		・ユニバーサル仕様		し、表現できる場	
9 安らぎの	場			ウンギのBのRよび切よしていて		1. 1. 2. 1. 0. cm = 1		 ・子どもがいつでも遊び、	Ш
	/ / / / / 7		■◇くつろげる空間 ■誰もが心を癒せる憩いの	安らぎの場の形成が望まれている		・やすらぎの空間		学べる環境づくり	Ш
	■人がとどまる 空間がない		空間	"		・憩いの場			Ш
		◆ゆったりとくつろげる公園のある空間	◇くつろげる場がほしい	"		・くつろげる広場			ıH
0 イベント活	舌動	五国ののの五川						様々な人・世代が集	Ш
		■多目的な広場・会場の設置	■多目的な利活用の場に	様々な利用ができる場が望まれている		・多目的広場		い、生き生きと活動す	Ш
			◆施設を利用したイベント	11	'	・屋内イベント施設		る場づくり	Ш
		■冬季限定イベントの開催	◆イベントを行う場	"	4	・冬季イベント施設			1
11 活気			■イベントができる場	ıı — ıı	ł	・屋外イベント施設		人同士のつながりや	$\ $
1 1 1 1 1 1 1 1	■曜日によって			いつでも活気のある場が望まれている	1	・人がたまる空間	1	コミュニケーションが	$\ $
2 健全な遊	イメージ が違う			し・してひたれののの物が主まれている		八かによる王间		育まれる環境づくり	$\ $
4 健王な姫		A-11. 1.8 - 5	■冬に子どもが安全に	フ供が中人に性ベフーしが増土とマンフ					,
		◇プレイパーク	遊べる場の確保	子供が安全に遊べることが望まれている		・プレイパーク		子どもから大人まで	$\ \ $
			◇天気に関係なく遊べる場 ■◇子どもの遊び場・	ıı .	1	・屋内の遊び場		誰もが、ともに活動し、	
			教育の場・育児の場	"		・教育・育児の施設		心通わせる環境づくり	
			◇子供が学ぶ事のできる場	II .		・学びの場			_
3 観光を促	: र्ज								
	◆観光客の	■観光案内する場	■ニセコ観光のきっかけの場	観光を促す仕組み作りが望まれている		・観光案内施設			
	受け入れ 態勢が整って		◆ニセコへの観光を促す場	"	-	年以 <i>口光</i> +5元			
	いない		◆二セコへの観元を従り場 ◆二セコの玄関としての役割	"	1	・観光促進施設	ı	3. 地域経済に	
4 情報発信			V— 210ДД 20 СОДП					つながる取り組み	
		■24時間活動できる、 ニセコをいつもリアルに	■外に対してメッセージを	 		· 情報受発信施設		・ ・生活、趣味、観光に	
		ーセコをいつもりアルに 発信し続けられる拠点	発信していく場	情報を発信・共有することが望まれている		- 情報文先信他設		関する情報を受発信、	
		■FMの基地局を倉庫群の		"		 ・コミュニティFM放送局		共有できる場	
		一角につくる	■趣味の発信・情報収集の場	"	1		N	- ・雇用創出の機会・きっかけ	L
			■情報発信、交流ができる場	"	1	• 情報交流施設		につながる取組	Ш
		■クリエイターの創作活動を		感性を共有することが望まれている		┃ ┃・創作活動ショールーム		 ・コミュニティ・ビジネスや	Ш
15 滞在時間	l のアップ	ショールーム化し見える産業						社会企業家の創出に	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	■時間をつぶせる		■ニセコでの滞在時間を	 有意義に過ごす空間が望まれている		・滞在・滞留空間		つながる取組	
	所がない	 ■宿泊施設の整備	アップさせられる場	滞在できる場が望まれてる	-	・飲食店			
	■飲食店が少ない		 滞在できる場が望まれてる	飲食できる場が望まれている	17	· 宿泊施設	7		
6 商店街の			WITE CO SAME TO VICE	With the Same Tourist Co.	1"	III YHWOUX	17	情報を	
		■商店街の活性化に		商店街を活性化させることが望まれている		・商店街活性化につながる施設		共有できる場づくり	'
17 雇用		つながる拠点							
- 1		■倉庫群を活用して雇用が		 雇用が創出されることが望まれている	1	・雇用創出の機会・きっかけ			1
18 生活		創出されるプロジェクトを展開		たがる お出ていることが 主めいといる		/正/17/21日の「成五 こ 2/8・1/		雇用創出の機会・きつ	Ш
10 工作	■除雪の問題			 生活の利便性を高めることが望まれている	1	- 除排雪の軽減	1	かけにつながる取組	
		■主婦層をターゲットに			1				
		した飲食や買い物の 出来る場を整備する		"		・住民の生活を支える商店等			
		◆住民の生活を充実させる店		"	1	"			1

多世代コミュニティ スペースの設置

ニバーサルデザイン仕様

休憩スペースの設置

多目的活動 スペースの設置

屋外交流 スペースの設置

子どもの遊び スペースの設置

観光の案内 スペースの設置

情報発信の スペースの設置 (趣味/お店/雇用/生活)

情報交流の スペースの設置 (ロコミ交流)

木憩スペースの設置

2号 倉庫

7号 倉庫

旧 でんぷん 工場

> 12号 倉庫

13号 倉庫

19 他施設と連	連携・協力							
	■食べ物屋だけ			連携・協力する仕組み作りが望まれている				
	では駄目		■他の拠点施設、エリアと 一体的にまちづくりを	"		・ニセコ全体の連携		
	◆周辺施設との連携ができるか		行う視点で考える			4. 連携、連動した		
	どうか	■隣接する温泉施設を 活かしたスポーツ施設を整備	■スポーツと他資源の連携	ıı ı		・地域資源同士の連携		取り組み
			■ニセコの拠点となる ような位置づけ	"		・波及を促すきっかけ・仕掛けづくり		・ニセコの資源を つなぎ合わせる場づくり
			■ニセコの観光の中での 中央地区での位置づけ、 役割を考える	"				·文化
			■観光や海外との連携の場	"	1.	・他地域(道内・国内・海外)と		・スホ [°] ーツ
			■既存にある機能、 商売との競合は避ける	既存の機能を活かすことが望まれている		の連携		│ ・健康づくり
			■既存商店と バッティングしないもの	II .		・既存商店・商売との連携・連動		
			■国道・道道・JRを 利用して倉庫群に人の 集まる動線をつくる	倉庫群を核とした場が望まれている		・人が町内を循環する動線、 きっかけづくり		町内の他施設にはない 機能・役割を位置づけ
		■福利厚生施設、観光施設の 両面を併せ持った施設	■倉庫毎に異なる機能と活動	施設機能の連携・協力が望まれている		・倉庫毎の連携		しつつも、町内全体としての相乗効果で他施設
			◆一体感のある施設	"		・連動した機能、一体感のある施 設		も活性化する取組
)拠点施設			■芸術家の活動の場	芸術に関する拠点の形成が望まれている	'	・芸術家の活動施設		
			■音楽. 演劇. 映画の	"		┃ ┃・音楽ホール・小劇場		
			表現の場 ■文化・芸術活動などの できる場	"		・創作活動の場		文化やスポーツの 活動の拠点づくり
		■フットパスの拠点	CC 0-30	運動に関する拠点の形成が望まれている		・市街地型フットパスの拠点		11 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -
		◆スポーツの拠点として		"		・スポーツ施設		
		■スポーツ関連施設		"		・スポ゜ーツショッフ゜		町民の健康づくり・体力
		◆スポーツ、アトラクション施設 としての活用		"		・体を動かす場、体力づくりの拠 点		づくりのきっかけとなる 場づくり
			■体力づくりのできる場	"				
			■学びの場	学びに関する拠点の形成が望まれている		・学びの場		
			■趣味の活動、交流の場	趣味の交流拠点の形成が望まれている		・趣味・交流の場		
1 継続性								
	■運営が			継続性のある計画が望まれている	4	・継続性のある運営、維持管理		
	できるのか			"	4			5. 継続性のある運営
	■継続性を考える	■大手企業とのパイプで集客		"				
	■安易に商売を 入れても上手く	 ■公設民営で観光を補う サービス事業を展開する		"		・町で全てを対応するのでなく、 民間・町民の力も借りた運営		・計画性、継続性のある 運営基盤 ・民間主体、町民参加
	はいかない		◆通年を通して足を運べる所	"	1	・四季を通して利活用できる施設		八川工件、川口グ川
	■町で整備・運営		■ニセコに根付かない 企業は来てほしくない	"			1	・来訪者・利用者にとっての わかりやすさ
	しても続かない		◇全ての倉庫を残す必要はない	"				・アクセスのしやすさ
			■町民主導で環境づくりを 行うこと	町民主導の計画づくりが望まれている				・すり鉢状の地形を活かし、 安心感を感じられる
22 敷地の特性	生			***************************************		おいのは他、ウナのズロ		空間づくり
2 性史の2	ケット		■どんぶりの底を活かす	敷地の特性を活かすことが望まれている		敷地の特徴・良さの活用		
23 特定のターー	7 71							

ターゲットを絞った施設が望まれている

利用者を特定しない施設が望まれている

アクセスしやすいことが望まれている

倉庫群を核とした場が望まれている

アクセスのしやすさの向上来訪者・利用者にとっての

わかりやすさ

·駐車場

■プロスポーツに関する

■一般用スポーツに関する

施設の設置

施設の設置

24 アクセス

■ルートが わかりにくい ◆交通の便が悪い

◆利用しやすい 駐車場がない

■駅前に行くまで

の動線が悪い

■◇特定のターゲットに狙い

◆駅前に動線を生んでほしい

■利用者を明確にした施設

■誰でも楽しめること

■国道・道道・JRを 利用して倉庫群に人の 集まる動線をつくる

打ちしたサービスを展開

音楽ホール・小劇場の 設置 (音楽、演劇、パ フォーマンス等)

展示ギャラリー・スペースの設置 (音楽、絵、演劇)

スポーツ空間の設置

他施設と連携・協力 した、通年型の活動 やイベントの展開

リ、パ フォーマンス等) 有島

> ニセコ 町民 センター

記念館

ニセコ ビュー プラザ

, 綺羅**乃湯**

> コミュニティ FM放送局

駅前商店

JR ニセコ駅

民間主体・町民参加による、計画性・継続性ある運営・維持管理

3. 具体的再活用プログラム

(1) 中央倉庫群の取り組みの展開方針と基本機能

再活用コンセプトを実現するための、中央倉庫群における取り組みの展開方針と基本機能を、町民等の意見や町の資源及び地域の潜在力(ポテンシャル)に基づいて設定します。

取り組みの展開方針

施設環境の整備・運営方針:場づくりの目標

1. ニセコらしさを活用した取り組み

- 〇二セコの環境:気候・風土・歴史・文化
- 〇二セコの資源・素材・技術
- 〇二セコの人材・人脈ネットワーク

⇒立地条件・市場条件とともに「**ニセコ」の特性を活かす**



- □ニセコの開拓の歴史や地域文化を、体験を通して感じ・学ぶ場づくり
- □町民の身近にあって、天候に左右されず、四季折々に**ニセコを楽しめ る場**づくり
- □町民それぞれが個性を活かし、**ニセコならではのライフスタイル実現** のために、自分らしく**生き生きと活動できる場**づくり

2. 人と人がふれあえる交流の取り組み

- 〇子どもから高齢者までの多様な年齢層
- 〇地元~来訪者の区別なく利用できる
- 〇身体の不自由な人でも気兼ねせず

⇒楽しい体験を共有することが交流の基本



- □町民~来訪者~観光客が**自由に集い、活動し、くつろぐ中での相互交 流の場**づくり
- 口人同士のつながりやコミュニケーションが育まれる場づくり
- □建物群として集積している特性を活かした**多様な活動の場**づくり

3.地域経済につながる取り組み

- 〇二セコの情報の積極的な受発信
- ○地域産業との連携
- ○新たな産業、地域を支えるコミュニティビジネスの創出
 - ⇒地域の特性を活かした経済活動による**雇用創出と収益性の確保**



- □様々な立場の人々が**情報を共有して活動できる場**づくり
- □個人の特技・地域の技術を活かした**ものづくり活動の場**づくり
- □チャレンジショップ・アンテナショップ等**新規開業を育む場**づくり

4. 町内の各施設・活動等と連携・連動した取り組み

- 〇文化・芸術・スポーツ・レクリエーション、「農」と「食」等が多様 に連動する
- 〇商店街・山麓リゾートエリア・町民センター・道の駅等と役割分担 し、連携する
- 〇町内他施設の不足機能を補てん・充実による相乗効果
 - **⇒ニセコの資源・人材をつなぎ合わせる拠点**とする



- □農・商・エ・観光各分野の連携活動の場づくり
- 口町民の多様な活動の連携拠点
- □町民の**健康づくり、体力づくりのキッカケとなる場**づくり
- □町内**他地域、他施設へ活動が拡がるキッカケとなる場**づくり

5.継続性のある民間主体の運営

- 〇町の財政負担を軽減する事業制度等の活用
- 〇価値ある有償サービスと受益者負担の原則
- 〇現実的で無理のない事業計画
 - ⇒施設・環境整備は公共で行うが、運営に関しては行政の財政支援 に依存しないことを原則とする**民間主体の事業運営**とする



- □維持・管理費(ランニングコスト)の負担軽減を考慮した場づくり
- □現実的で**適切な初期投資(イニシャルコスト)による場**づくり
- □民間による経営感覚を重視した開かれた企画運営の場づくり

基本機能スペース(例)

- ○地域の歴史・文化や「農と食」などをテーマにし たニセコの紹介スペース
- ○地場農産物の加工・実習体験・提供スペース
- ○地場農産物の貯蔵・熟成スペース
- ○多世代コミュニティスペース(団らん・憩い)
- ○屋 外 交 流 ・ 憩 ハ の ス ペ ー ス
- ○子 ど も の 遊 び ス ペ ー ス
- ○暮 ら し の 情 報 受 発 信 ス ペ ー ス (趣味、お店、雇用、生活等)
- ○観光情報案内スペース(町内~広域)
- ○情報交流スペース(□コミ交流など)
- ○多目的活動スペース
- ○音 楽 ホ ー ル ・ 小 劇 場 、 講 演 会 な ど の イベントスペース
- ○展示ギャラリースペース
- ○も の づ く り エ 房 ス ペ ー ス
- ○チャレンジショップ・アンテナショップ等の試行 スペース
- ○スポーツ&レクリエーションスペース
- ○倉庫群全体の運営管理主体事務局の活動スペース

など

【中央倉庫群の特徴とここで取り組むことの優位点】

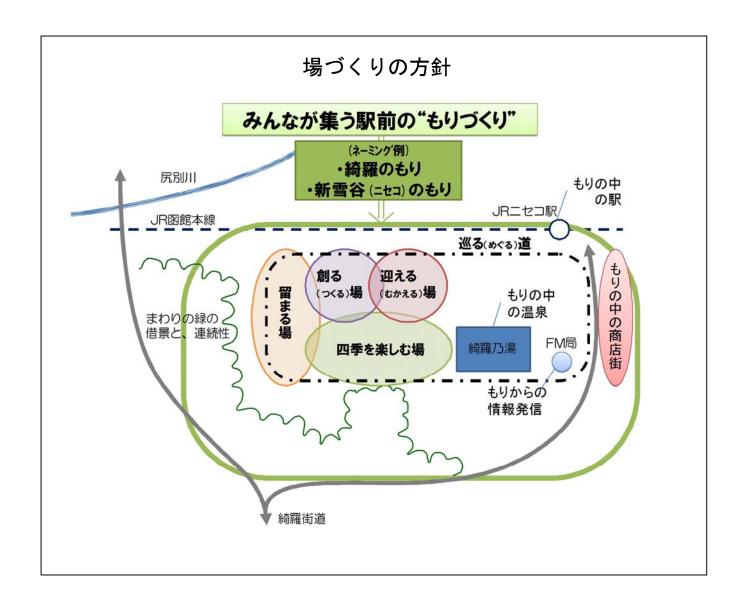
- ○歴史ある特徴的な景観・空間を活かした取り組みが可能
- ○自由度が高い民間運営を予定(物販の充実、夜間営業等)
- ○要望や必要性に応じて、機能特化が可能(音楽ホール等)

町内既存施設との連携・役割分担による、町内全体活性化のキッカケとなる中央倉庫群の「しかけづくり」

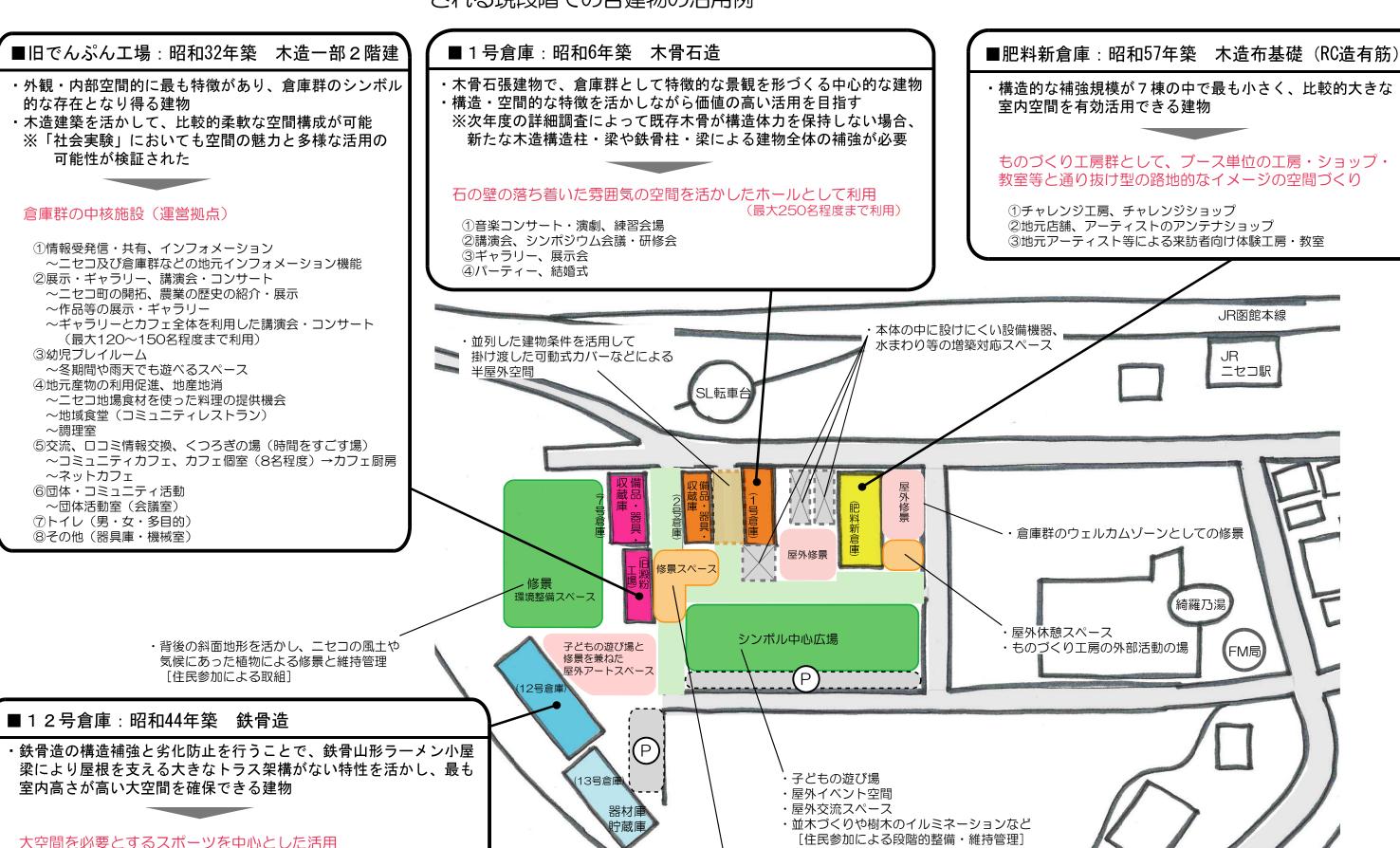
- ○道の駅・ニセコビュープラザ
- 〇有島記念館
- 〇町民センター 〇公民館
- など

(3) 場づくりの方針

中央倉庫群・中央地区の立地特性・潜在力(ポテンシャル)と、再活用コンセプト、及び町民等の意見・アイディアに基づいた展開方針と基本機能を総合的に捉え、中央地区全体を視野に入れた「場づくりの方針」を、概念図として以下に整理します。



中央倉庫群ゾーニング(活用例): "これまでの検討による基本機能の想定"と"建物の物理的要件(耐震性、耐久性、法的規制条件等)から想定" される現段階での各建物の活用例



・でんぷん工場での活動が外ににじみ出して

(テラス、ウッドデッキ、屋外ファニチャー等を備える)

楽しい様子を伝えるスペース

①室内イベント利用

③マウンテンバイク

④ウォームクライム

②スケートボード、インラインスケート

⑤室内ウォーキングコース など

● Ⅲ 中央倉庫群の改修計画

- 1. 旧澱粉工場
- 2. 肥料新倉庫
- 3. 1号倉庫
- 4. 12号倉庫

1. 旧澱粉工場

(1)施設の活用例

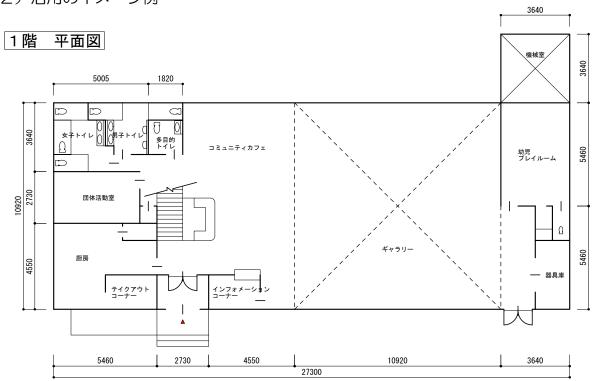
●空間の使い方	〇中央倉庫群の中核施設(運営拠点)
	〇工場であった大きな木造建築のスケール感、2階建て構成や木組トラスが活か
	されるように、細かく間仕切らないで、一つのオープンな空間として利用。
	〇陽が入り明るく、暖かく、どこか懐かしさを感じる空間づくり。
●整備機能	①情報受発信・共有、インフォメーション
	〇二セコ及び倉庫邑などの地元インフォメーション機能
	→インフォメーション・コーナー(人による対応)
	→パンフレット・チラシ、iPad 等でニセコの情報を提供
	②展示・ギャラリー、講演会・コンサート
	〇二セコ町の開拓、農業の歴史の紹介・展示
	→入口周辺にパネル等で常設的な展示
	→iPad(貸出有り)によるクイズ形式による体験学習
	○作品等の展示・ギャラリー
	→ギャラリー・スペース(ピクチャーレール、ライティングレール)
	〇ギャラリーとカフェ全体を利用した講演会・コンサート
	→最大 120~150 名程度までの利用
	③地元産物の利用促進、地産地消
	○調理室 →ニセコ地場食材を使った料理の提供機会
	→地域食堂(コミュニティレストラン)
	④交流、口コミ情報交換、くつろぎの場(時間を過ごす場)
	○コミュニティ・カフェ、カフェ個室(8 名程度)→カフェ厨房
	〇ネットカフェ(外国人がネットでニュース入手。電子ブック・電子絵本等の対
	応)→iPad の貸出有り。Wi-Fi 通信
	⑤団体・コミュニティ活動 →団体活動室(会議室)
●基本性能	・風除室、入口
	・明かり取り(窓・開口部の増設→構造耐力との整合性)
	・備品・器具庫、調理室倉庫(2階床下を利用)
●基本設備	•照明、電源
	・ネット設備(光ファイバー、Wi-Fi)
	・ピクチャーレール、ライティングレール
	•音響設備(BGM)
	•換気
	•暖房、機械室
	・トイレ
	•給湯
	・幼児プレイルーム用のトイレと水回り
	・消防法等に基づく設備
<u>-</u>	

【第2ステップ の整備(想定)】

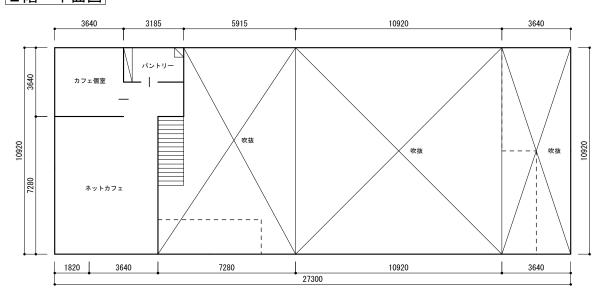
第1ステップ[®]整備後に不便になった箇所の 改修

新たな要望に 対する対応

(2) 活用のイメージ例



2階 平面図



2. 肥料新倉庫

(1)施設の活用例

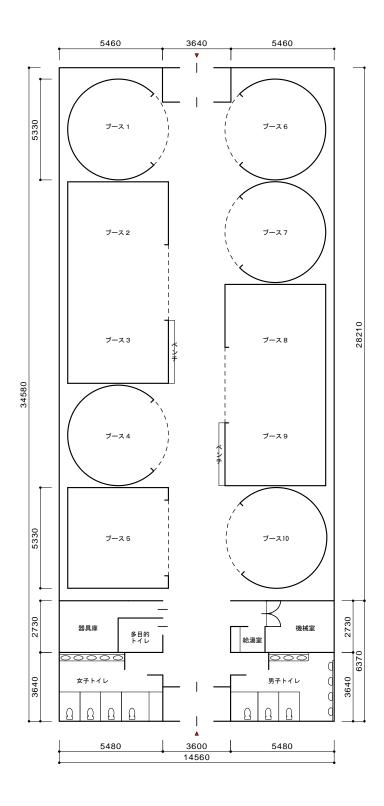
●空間の使い方	 ○道路側・広場側の両方に出入口を設け、室内でありながらも、通り抜け型で路地的なイメージの空間づくり。 ○構造補強規模がそれほど大きくならずに、比較的大きな室内空間を使うことができるため、オープンな空間に対して工房(ブース式)を設置・連続。 →チャレンジエ房、チャレンジショップ →地元店舗・アーティストのアンテナショップ →地元アーティスト等による来訪者向け体験工房・教室
●整備機能	○ブース単位の工房・ショップ・教室○ブース毎に、照明・電源、水道・排水の設置○ブースに個別換気扇が必要な場合の対応準備(個別換気扇の設置は借り手の負担)
●基本性能	・風除室、入口 ・明かり取り(トップライト、窓・開口部増設) ・備品・器具庫
●基本設備	 ・照明、電源 ・ネット設備(光ファイバー、Wi-Fi) ・換気 ・暖房、機械室 ・トイレ ・給湯 ・消防法による設備

【第2ステップ の整備(想定)】

・工房ブース増 設のための増 築(新棟)

(2) 活用のイメージ例

平面図



3. 1号倉庫

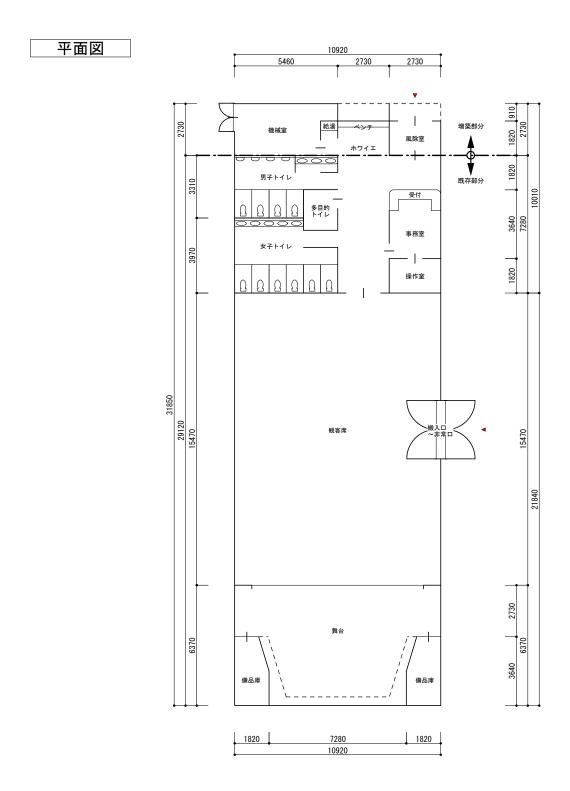
(1)施設の活用例

●空間の使い方	 ○壁が石造であり、固い素材で囲われた落ち着いた雰囲気の空間を活かして、ホールとして利用。 →音楽コンサート・演劇の講演、練習会場 →講演会、シンポジウム、会議・研修会 →ギャラリー、展示会 →パーティ、結婚式
●整備機能	 ○最大 250 名程度までの利用 ○スタート当初は、舞台設備・舞台装置は重装備としないで、最小限の整備とする。 →仮設舞台、舞台バックパネル(移動式) →舞台照明・舞台音響のためのライティングレールのみ →楽屋なし
●基本性能	・風除室、玄関、玄関ホール ・備品・器具庫
●基本設備	 ・照明、電源 ・換気 ・暖房、機械室 ・トイレ ・給湯 ・消防法による設備

【第2ステップ の整備(想定)】

- ·可動式舞台、 可動式反響板
- ·舞台照明、音響、操作室
- •楽屋

(2) 活用のイメージ例



4. 12 号倉庫

(1)施設の活用例

●空間の使い方	 ○鉄骨造で水平梁がなく階高の高い大空間を活かした、室内でのスポーツ、イベント利用。 →室内イベント利用 →スケートボード、インラインスケート →マウンテンバイク →ウォームクライム
	→室内ウォーキング・コース
●整備機能	○スタート当初は、最小限の整備とする。→暖房なし→トイレ、水回りもなし
●基本性能	・入口周りの改修(シャッター→ドアに変更。雨よけ程度) ・明かり取り(窓・開口部の増設) ・内装=衝撃吸収材等仕上 ・床=強化材仕上(スケートボード対応)
●基本設備	・照明、電源・換気・消防法による設備

【第2ステップ の整備(想定)】

- ・風除室、玄関ホール
- ・ロッカー・ルーム
- •備品•機材庫
- ▪放送設備
- •暖房

(2)活用のイメージ例

平面図

15200

■ IV 維持管理・運営計画、整備事業計画

- 1. 維持管理・運営計画
- 2. 整備事業計画

1. 維持管理・運営計画

(1) 想定される運営の形態

公設民営型による運営を想定した場合の、その運営体制(形態)(案)を整理します。

田:

「倉庫群」を所有、施設建物、設備機器、周辺環境を公共として整備し、運営管理を運営主体へ委託

報告

委託

受 託 【倉庫群】

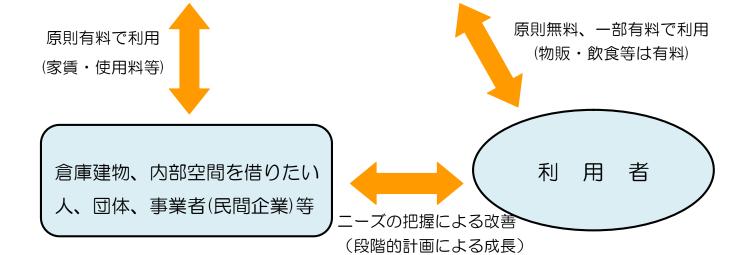
評価委員会(仮):

運営主体よる「倉庫群」の運営・管理 を第三者機関として評価し、町へ報告

運営主体:NPO 法人等

町から受託し、「倉庫群」の運営・管理を行う

評 価



(2) 運営に必要なルール(例)

運営主体が示す運営方針だけではなく、本来的に中央倉庫群の再活用・利用の上で守らなければならないルール(大方針)を設定することを提案します。

ここでは一つの例として、「(仮称)倉庫群活用憲章10カ条」を示します。

倉庫群活用憲章 10 ヵ条 (例)

- 1. ニセコらしさにこだわる。
- 2. 地域の歴史を語る倉庫群の雰囲気を生かす。
- 3. ニセコの資源や素材、技術、人材等を活用する。
- 4. 活動の主体者は二セコ町民とする。
- 5. 地域の活性化や雇用の促進に役立つ。
- 6. 人と人、他の団体、他の施設などとの絆を大切にする。
- 7. 出来ることから始め、少しずつ「進化する倉庫群」をめざす。
- 8. 身の丈にあった運営・活用を心がけ、自活をめざす。
- 9. 町民も来訪者、観光客も、すべての世代が集い、楽しめる。
- 10. 既存概念にとらわれずに新しい挑戦をし続ける。

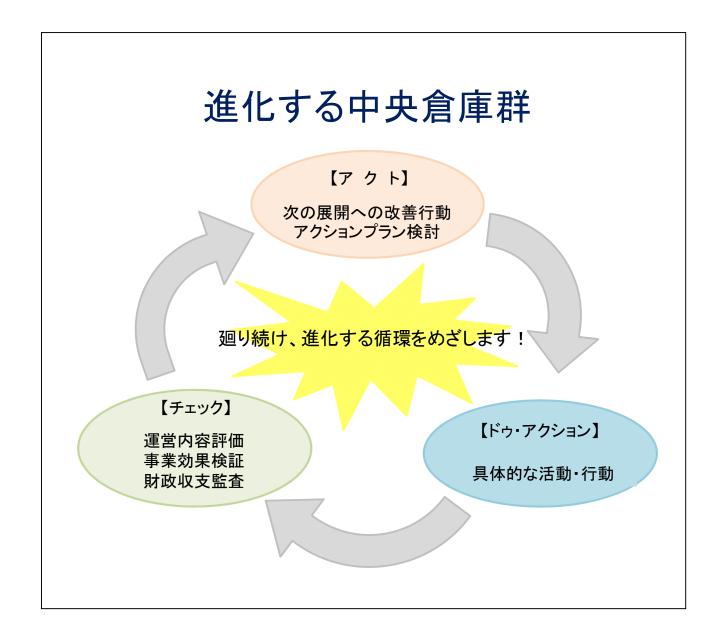
2. 整備事業計画

(1) 事業の進め方

①プロセス・プランニングの提案

中央倉庫群の整備手法として、7棟全てを同時期に倉庫用途以外の施設として整備・再活用するのではなく、整備効果・利用効果の高いものから段階的に整備・再活用することを提案します。

「廻り続け、循環・進化する『プロセス・プランニング』」として、整備・再活用の進捗とともに、整備内容、施設利用・活動、運営の評価・効果検証を常に行いながら、必要に応じた改善行動・アクションプランを位置づけ、それに基づく具体的な対応・改善を行っていく循環・進化する取り組みを提案します。



②整備ステップの考え方~中央倉庫群再活用のプログラム

プロセス・プランニングを基本とする「進化する倉庫群」としての整備ステップ(中央倉庫群 再活用のプログラム)の考え方を、以下に整理します。

―「残す」から「活かす」への進化のプロセス・プランニング―

活動·検証·改善行動·整備の循環による『進化する倉庫群』

STEP 1

◎倉庫群としての景観的な保全価値が高く、かつ施設利用効果に見合った 形で構造補強(耐震改修の費用負担)の対応ができる建物の整備

【STEP1で、倉庫用途以外として活用・整備する建物】

- →旧澱粉工場
- →肥料新倉庫
- → 1 号倉庫
- →12 号倉庫

【STEP1で、倉庫用途のままで補修を行う建物】

- →2号倉庫
- →7号倉庫
- →13 号倉庫

STEP 2

- ◎STEP1の整備後、施設利用上で必要とされる、または利用者要望の 多い機能・役割の整備
- ◎STEP1の成果・成功を踏まえ、STEP1で補修程度としていた建物の活用・整備を検討

【STEP2で、倉庫用途以外として活用・整備する建物】

→その時点で必要とされる建物のみの整備

STEP 3

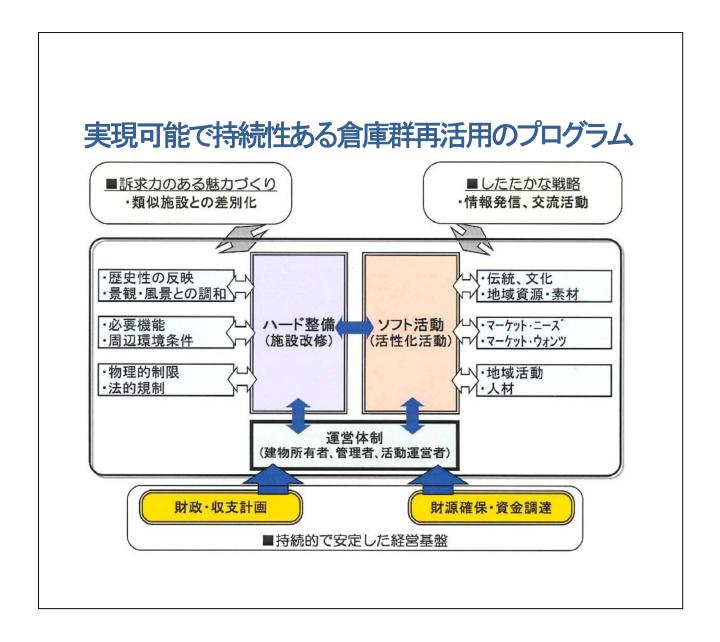
◎STEP2の整備後、施設利用上でさらに必要とされる、または社会動向を踏まえてその時点で利用者要望の多い機能・役割の整備

【STEP3で、倉庫用途以外として活用・整備する建物】

→整備済み建物の機能・役割の見直しを含めた、その時点で必要される 整備への対応

③実現可能で持続性ある倉庫群再活用のプログラム

「活動・検証・改善行動・整備の循環による『進化する倉庫群』」の具体的な取り組み手法や体制 づくりの考え方を、以下に体系として整理します。



(2) 整備年次計画・整備費概要

年 度	事業内容	事業費(概要)	うち国交付金	運営·維持管理
平成23	•基本設計	600万円	240万円	
年度				_
平成24	- - 劣化・耐震性調査	500万円	200万円	
年度	多化 例展注测度			_
平成25	•実施設計	9 500 5 II	3,400万円	_
年度	•土地•建物取得	8,500万円	3,400万円	_
平成26	•改修•外構工事	45,400万円	18,160万円	
年度	(第1期)	45,400万円	18,160万円	_
平成27	•改修•外構工事	45,000万円	18,000万円	●第1期整備施設の運営スタート
年度	(第2期)	45,00077	18,0007]	●第「朔楚哺꺤故の達呂\タート
平成28				●第2期整備施設の運営スタート
年度	_			●第2朔奎備他設の連呂スダート
合 計	_	100,000万円	40,000万円	

[※]今後の調査、設計等の結果により、事業費や交付金の額は変動します。

● 参考資料

・現地調査写真帳

■肥料新倉庫

写真 No	肥料新倉庫-1
撮影場所	外部
適用	• 外観
写真 No	肥料新倉庫-2
撮影場所	外部
適用	・剥がれのある開口部ベニヤ板
写真 No	肥料新倉庫-3
撮影場所	外部
適用	・破損している壁面

	写真 No	肥料新倉庫-4
	撮影場所	外部
		・ひび割れている軒
		天の仕上げ材
	適用	
2.0	写真 No	肥料新倉庫-5
	撮影場所	内部
The state of the s		・内観
	適用	
	写真 No	肥料新倉庫-6
	撮影場所	内部
		・床にひび割れが見
		られるものの構造
		的な問題はない
	適用	

写真 No	肥料新倉庫-7
撮影場所	内部
	・壁面に劣化は見ら
	れない
適用	
写真 No	肥料新倉庫-8
撮影場所	内部
	・小屋組に劣化は見
	られない
適用	
<u>//</u> 2/13	
写真 No	
撮影場所	
適用	

■1号倉庫

日本ト	1 □◆± 1
写真 No	1号倉庫-1
撮影場所	外部
適用	・外観
写真 No	1号倉庫-2
撮影場所	外部
	・劣化している壁面
適用	上部の建具廻り
写真 No	1号倉庫-3
撮影場所	外部
適用	・塗装が劣化している屋根のカラー鉄板

	写真 No	1号倉庫-4
Just a de la Laboure de la Company de la Com	撮影場所	外部
13	」取示ノジのバー	・欠損が見られる基
		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
		にとり
	適用	
	AZ/13	
	写真 No	1号倉庫-5
	撮影場所	内部
		・内観
	\ 	
	適用	
	写真 No	1号倉庫-6
	撮影場所	内部
		・丸太で補強された
		西側壁面
		
	適用	
	<u> </u>	

	T	I
	写真 No	1号倉庫-7
	撮影場所	内部
		・梁が補強されてい
		る小屋組
	適用	
	写真 No	1号倉庫-8
	撮影場所	内部
		・変色している屋根
		下地材
	\	
	適用	
THE SECTION OF THE SE		
	写真 No	1号倉庫-9
	撮影場所	内部
		・変色している屋根
		下地材
	適用	
The state of the s		

■2号倉庫

写真 No	2号倉庫-1
撮影場所	外部
適用	• 外観
写真 No	2号倉庫-2
撮影場所	外部
適用	・沈下している南東の屋根面
写真 No	2号倉庫-3
撮影場所	外部
適用	・剥がれ見られる軒

4	
写真 No	2号倉庫-4
撮影場所	外部
	・基礎が沈下してい
	る北西部分
適用	
写真 No	2号倉庫-5
撮影場所	内部
	・内観
\ 	
適用	
写真 No	2号倉庫-6
撮影場所	内部
	・梁が欠損している
	小屋組
適用	

	写真 No	2号倉庫-7
	撮影場所	内部
		・改修跡がみられる
	適用	小屋組
	写真 No	2号倉庫-8
The state of the s	撮影場所	内部
The state of the s		・改修跡が見られる
	適用	屋根下地材
	写真 No	2号倉庫-9
	撮影場所	内部
	適用	・補強されている梁

■7号倉庫

写真 No	7号倉庫-1
撮影場所	外部
適用	・外観
写真 No	7号倉庫-2
撮影場所	外部
適用	・汚れが目立つ側壁
写真 No	7号倉庫-3
撮影場所	外部
適用	・欠損している側壁

	T	<u> </u>
	写真 No	7号倉庫-4
	撮影場所	外部
	適用	・穴あきが見られる壁面
	写真 No	7号倉庫-5
The state of the s	撮影場所	内部
ARD SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SE	適用	・内観
	写真 No	7号倉庫-6
	撮影場所	内部
	適用	・変色している屋根下地材

	700+-
写真 No	7号倉庫-7
撮影場所	内部
適用	・補修跡がある壁面
写真 No	7号倉庫-8
撮影場所	内部
	・仕上げ材に剥がれ
	が見られる建具
適用	
写真 No	
撮影場所	
適用	

■旧澱粉工場

写真 No	旧澱粉工場-1
撮影場所	外部
適用	・外観
写真 No	旧澱粉工場-2
撮影場所	外部
適用	・サビが目立つ腰壁の鋼板
写真 No	旧澱粉工場-3
撮影場所	外部
適用	・欠損している壁面

	<u> </u>	
	写真 No	旧澱粉工場-4
	撮影場所	外部
		・1 階と2階の窓位
		置の整合が図られ
		ていない
	適用	
The second second		
THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SERVICE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SE		
	写真 No	旧澱粉工場-5
	撮影場所	内部
		・内観
	\ 	
	適用	
	写真 No	旧澱粉工場-6
	撮影場所	内部
		・腐食により開口し
		ている床面
	適用	

P古 NI-	
写真 No	旧澱粉工場-7
撮影場所	内部
適用	・軸組のバランスが 悪く縦にひび割れ た柱
写真 No	旧澱粉工場-8
撮影場所	内部
適用	・穴あきが見られる壁面
写真 No	旧澱粉工場-9
撮影場所	内部
適用	・撤去されていない工場の設備(天井面)

■12号倉庫

	写真 No	12号倉庫-1
	撮影場所	外部
	適用	・外観
	写真 No	1 2号倉庫-2
	撮影場所	外部
	適用	・穴あきしている腰 壁
P. San St. Branch & St. Branch	写真 No	12号倉庫-3
	撮影場所	外部
	適用	・サビが目立つ腰壁天端

□ ★ N	4 O D 🗢 🖶 4
写真 No	12号倉庫-4
撮影場所	外部
	・ガラスが割れてい
	るサッシ
適用	
写真 No	1 2号倉庫-5
撮影場所	内部
	・内観
適用	
写真 No	12号倉庫-6
撮影場所	内部
	・サビが目立つ鉄骨
	柱
適用	

写真 No	12号倉庫-7
撮影場所	内部
適用	・腐食が目立つシャッター
写真 No	12号倉庫-8
撮影場所	内部
適用	・改修跡が見られる屋根下地材
写真 No	
撮影場所	
適用	

■13号倉庫

	写真 No	13号倉庫-1
	撮影場所	外部
Ba	適用	· 外観
	写真 No	13号倉庫-2
	撮影場所	外部
	適用	・サビが見られる鉄骨の袖柱
	写真 No	13号倉庫-3
	撮影場所	外部
	適用	・剥がれが見られる壁面モルタル

	写真 No	13号倉庫-4
	撮影場所	外部
		・ひび割れが見られ
		る壁面
	適用	
CERTA		
	写真 No	13号倉庫-5
	撮影場所	内部
		・内観
	適用	
A Black Control		
	写真 No	13号倉庫-6
	撮影場所	内部
	コロスポンンの「ハー	・水分を含んだ状態
		の土台
	適用	
	\Z/13	

	写真 No	13号倉庫-7
THE THE PARTY OF T	撮影場所	内部
	適用	・隙間があいている 基礎と土台(緊結が 不十分)
	写真 No	13号倉庫-8
	撮影場所	内部
11年文人、全面自1五十年1-1章(2)	適用	・隙間があいている 基礎と土台(緊結が 不十分)
	写真 No	
	撮影場所	
	適用	